

2024年度事業報告

I 法人本部事務局

1 適正かつ効率的な法人経営等

(1) 理事会・評議員会等の開催状況

開催日	会議名	議題
6月4日(火)	第1回理事会	議案 第1号議案 2023年度事業報告 第2号議案 2023年度決算報告及び監査報告 第3号議案 理事の選任の提案 第4号議案 会計監査人の選任提案及び報酬額の決定 第5号議案 定時評議員会の招集 報告事項 1 第2次経営計画の2023年度達成状況及び2024年度進行予定 2 社会福祉充実残額の算定結果 3 理事長専決事項の報告 (1) 給与規程の一部改正 (2) 事務決裁規程の一部改正 4 その他
6月25日(火)	定時評議員会	議案 第1号議案 2023年度事業報告 第2号議案 2023年度決算報告 第3号議案 理事の選任 第4号議案 会計監査人の選任 報告事項 1 第2次経営計画の2023年度達成状況及び2024年度進行予定 2 その他
11月5日(火)	第2回理事会	議案 第1号議案 第2回評議員会の招集 報告事項 1 2024年度上半期の事業報告 2 2024年度上半期の収支状況報告 3 2024年度上半期の第2次経営計画の進捗状況 4 理事長専決事項の報告 給与規程及び非常勤職員就業規則の一部改正 5 その他

11 月 26 日(火)	第 2 回評議員会	報告事項 1 2024 年度上半期の事業報告 2 2024 年度上半期の収支状況報告 3 2024 年度上半期の第 2 次経営計画の進捗状況 4 その他
3 月 11 日(火)	第 3 回理事会	議 案 第 1 号議案 2025 年度事業計画案 第 2 号議案 2025 年度予算案 第 3 号議案 育児・介護と仕事の両立支援のための関係規則の一部改正 第 4 号議案 役員等損害賠償責任保険契約の締結 第 5 号議案 評議員選任委員会委員の選任 第 6 号議案 第 3 回評議員会の招集 報告事項 1 2024 年度内部監査の結果 2 福祉サービス等に関する苦情解決に係る第三者委員の委嘱 3 第 3 次経営計画の策定について 4 理事長専決事項の報告 旅費規程の一部改正 5 その他
3 月 25 日(火)	第 3 回評議員会	報告事項 1 2025 年度事業計画 2 2025 年度予算 3 第 3 次経営計画の策定 4 その他
3 月 31 日(月) (書面議決)	第 4 回理事会	議 案 第 1 号議案 評議員候補者の評議員選任委員会への推薦について

(2) 内部監察の実施

【監察項目】 公印の管理方法、起案文書の取り扱い、職員私物の管理方法、
小口現金の管理、立替金及び仮払金管理、超過勤務命令の申請手続き

実施日	施設名	結果及び改善是正状況
10月15日(火)	横浜医療福祉センター港南	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済
10月18日(金)	横浜療育医療センター	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済
10月24日(木)	たちほどがや	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済
10月28日(月)	地域療育センターあおば	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済
10月30日(水)	法人本部事務局	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済

(3) 寄附金受入れ状況

施設名	金額	件数
法人本部事務局	-	-
横浜医療福祉センター港南	318,000 円	5 件
横浜療育医療センター	267,000 円	5 件
地域療育センターあおば	-	-
たちほどがや	660,050 円	5 件
寄附金総額	1,245,050 円	15 件

(前年度実績： 1,065,000 円 12 件)

2 第2次経営計画の確実な進捗管理

(1) 経営会議、理事会及び評議員会で進捗報告

実施日	活動内容
9月17日(火)	本部会議 上半期進捗報告
9月17日(火)	横浜医療福祉センター港南 上半期進捗報告
9月19日(木)	たちほどがや 上半期進捗報告
9月24日(火)	横浜療育医療センター 上半期進捗報告
9月30日(月)	地域療育センターあおば 上半期進捗報告
11月5日(火)	第2回理事会 上半期進捗報告
11月26日(火)	第2回評議員会 上半期進捗報告
4月15日(火)	横浜医療福祉センター港南 下半期進捗報告
4月17日(木)	たちほどがや 下半期進捗報告
4月22日(火)	横浜療育医療センター 下半期進捗報告
4月28日(月)	地域療育センターあおば 下半期進捗報告

3 発生主義による会計処理の実施

2024 年度より、会計処理を現金主義から発生主義へと切り替えた。従来は本部会議で 2 ヶ月前の収支を報告していたが、発生主義によって前月の収支を報告できるようになり、迅速かつ適正な収支状況の把握が可能となった。

あわせて、発生主義に適した決済方法としてプリペイド式クレジットカードの導入も進め、2025 年度より全拠点にて本格的な運用を行う準備が整った。

4 人材の確保・育成・定着

(1) 各施設の安定的な運営を支える職員の採用・確保 (()内は前年度実績)

・職員採用数【常勤、限定常勤】 96 人 (84 人)

※ 看護師 28 人 (26 人)、生活支援員 24 人 (18 人)、保育士 10 人 (7 人)、
児童指導員 3 人 (0 人)、その他 31 人 (33 人)

・職員退職数【常勤、限定常勤】 77 人 (80 人)

※ 看護師 30 人 (31 人)、生活支援員 26 人 (23 人)、保育士 4 人 (5 人)、
児童指導員 1 人 (0 人)、その他 16 人 (21 人)

・就職セミナーの開催 43 回 (23 回)、69 人参加 (60 人)

・合同就職説明会への参加 10 回 (10 回)、225 人参加 (174 人)

・学校訪問 33 校 (6 校)

・就職支度金制度の見直し

採用困難職種である保育士・児童指導員を対象に追加

生活支援員の支度金額を増額

(新卒・1 年未満経験者：10 万円→15 万円、1 年以上経験者：15 万円→30 万円)

・職員宿舎の見直し

職員宿舎の利用対象を看護師優先としていたものを採用困難職種優先に拡大するとともに、
借上対象施設を 1 施設から 9 施設に拡大

(2) 「人財」の定着に向けた働きやすい職場づくり

・新採用職員研修 研修受講者 95 人

・人事考課者研修 実施回数 15 回 受講者 214 人

Ⅱ 横浜医療福祉センター港南運営事業

2024年度の全体目標として、在宅支援サービスの充実を掲げ、短期入所の16床稼働や医ケア児の通学支援を検討したが、職員の欠員状態が今年度も続き、十分な支援を提供することができなかった1年となった。利用者の医療度が上がるなか、新しい試みとしてRST（呼吸器ケアサポートチーム）を立ち上げ、多職種との連携や入浴時にウルトラファインバブルを導入する等利用者のQOL向上に努めた。人材不足により、利用者への充実した支援を行うことができなかったが、今後も人材の確保を戦略的に行い、利用者への充実した支援の提供及び職員への過度な業務負担の軽減を実現したい。

主な事業の結果は以下のとおり。

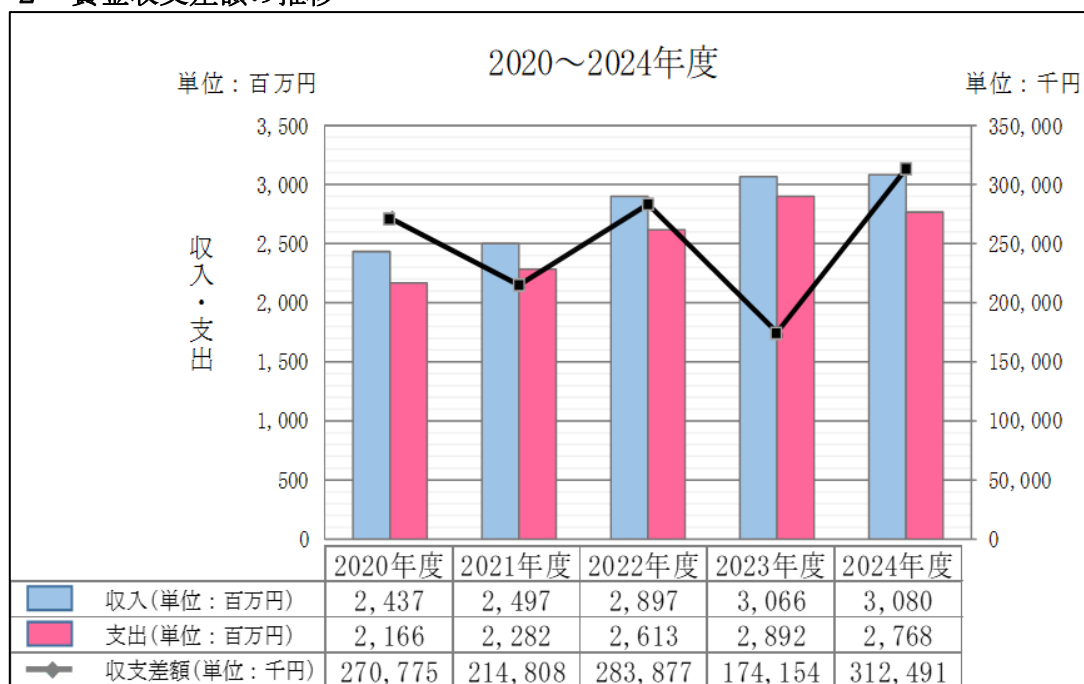
- 1 長期入所について、新規入所者6名を受け入れ、占床率は年平均97.9%でほぼ計画通りに推移した。
- 2 短期入所について、6月から16床（満床）の目標を掲げたが人材不足により占床率が年平均76.4%で未達成となった。
- 3 外来診療について、小児科・内科、耳鼻咽喉科、精神科の診療数が増え、1日平均の外来数が113名を超え、目標の112名を達成した。

2024年度も人材不足により、利用者への充実した支援を行うことができなかったが、2025年度は人材の確保を戦略的に行い、利用者への充実した支援の提供及び職員への過度な業務負担の軽減を実現したい。

1 「数値目標」に対する評価

事業名		目標値	実績	達成率
長期入所	上期	142.6 名/日	139.6 名/日	97.9%
	下期	142.6 名/日	142.5 名/日	99.9%
短期入所	上期	12.0 名/日	11.2 名/日	93.3%
	下期	15.4 名/日	13.3 名/日	86.4%
外来診療	上期	112.0 名/日	109.2 名/日	97.5%
	下期	112.0 名/日	116.9 名/日	104.4%

2 資金収支差額の推移



入院診療収入及び外来診療収入が好調であり、物価高騰対応関連支援金の入金があったこと、また、人件費が抑えられたことにより、収支差額は312,491千円で予算を上回った。

3 センター全体の実績

(1) 長期・短期・入院利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期 (144床)	定 数	4,320	4,464	4,320	4,464	4,464	4,320	4,464	4,320	4,464	4,464	4,032	4,464	52,560	52,704	99.7%
	実績数	4,228	4,316	4,124	4,224	4,366	4,280	4,423	4,248	4,416	4,405	3,994	4,446	51,470	52,110	98.8%
	1日平均	140.9	139.2	137.5	136.3	140.8	142.7	142.7	141.6	142.5	142.1	142.6	143.4	141.0	142.4	99.1%
	占床率	97.9%	96.7%	95.5%	94.6%	97.8%	99.1%	99.1%	98.3%	98.9%	98.7%	99.1%	99.6%	97.9%	98.9%	
短期 (入院含む 16床)	定 数	480	496	480	496	496	480	496	480	496	496	448	496	5,840	5,856	99.7%
	実績数	312	312	249	381	396	397	410	403	414	417	355	415	4,461	4,670	95.5%
	1日平均	10.4	10.1	8.3	12.3	12.8	13.2	13.2	13.4	13.4	13.5	12.7	13.4	12.2	12.8	95.8%
	占床率	65.0%	62.9%	51.9%	76.8%	79.8%	82.7%	82.7%	84.0%	83.5%	84.1%	79.2%	83.7%	76.4%	79.7%	
総合計 (160床)	定 数	4,800	4,960	4,800	4,960	4,960	4,800	4,960	4,800	4,960	4,960	4,480	4,960	58,400	58,560	99.7%
	実績数	4,540	4,628	4,373	4,605	4,762	4,677	4,833	4,651	4,830	4,822	4,349	4,861	55,931	56,780	98.5%
	1日平均	151.3	149.3	145.8	148.5	153.6	155.9	155.9	155.0	155.8	155.5	155.3	156.8	153.2	155.1	98.8%
	占床率	94.6%	93.3%	91.1%	92.8%	96.0%	97.4%	97.4%	96.9%	97.4%	97.2%	97.1%	98.0%	95.8%	97.0%	

(2) 外来利用状況

外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	769	663	768	783	767	682	799	812	742	717	656	814	8,972	8,677	103.4%
耳鼻科	46	47	43	48	52	26	51	51	47	49	40	52	552	522	105.7%
リハビリテーション課	874	1,054	983	975	937	942	1,016	938	938	908	888	989	11,442	11,797	97.0%
整形外科	24	19	28	37	30	30	26	30	29	32	35	30	350	370	94.6%
皮膚科	6	13	6	12	4	10	12	10	6	7	8	7	101	103	98.1%
精神科	54	39	49	67	72	65	76	63	63	76	65	79	768	513	149.7%
歯科	154	190	188	205	185	181	196	195	188	202	174	126	2,184	2,255	96.9%
短期外来	312	312	250	381	399	397	414	393	359	418	358	415	4,408	4,579	96.3%
外来者総数	2,239	2,337	2,315	2,508	2,446	2,333	2,590	2,492	2,372	2,409	2,224	2,512	28,777	28,816	99.9%
1日平均	101.8	106.2	110.2	109.0	111.2	116.7	112.6	118.7	113.0	120.5	117.1	119.6	113.0	112.2	100.7%

(3) 地域交流

ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動実数	4	7	7	19	26	16	16	18	17	15	18	16	179	45	397.8%
活動延べ回数	14	21	27	40	52	35	44	44	51	32	42	43	445	207	215.0%

【主な活動】

- ・裁縫ボランティア
- ・植栽ボランティア
- ・日中活動ボランティア
- ・読み聞かせボランティア
- ・入浴後のドライヤーボランティア
- ・食事介助ボランティア

植栽ボランティア 稲葉様 表彰



(4) 公開講座

とちのき講座

公開日	テーマ	講師	参加人数
2024/11/13	障害のある方を守る制度について考える	認定NPO法人 よこはま成年後見つばさ 副代表理事 齋藤聡子氏	48名

昨年度実施し、再度開催の要望が多かった成年後見制度についての講座を再度実施。
今回も多く参加があり、大変好評であった。

4 各部署の報告

(1) 診療部門

2024年度は、内科系医師14名、児童精神科医1名、耳鼻科医2名の16名の常勤医師の体制で診療にあたった。2023年度末で常勤の歯科医師が退職し、歯科は非常勤医師3名で外来を担当した。

長期入所では、児童を含む6名の新規入所者があった。新たに気管切開、胃ろう造設、人工呼吸器装着となった利用者が複数おり、重症化が進んでいる。院内チーム活動として、ICT、ACP、栄養、救急の各チームに加え、重心の呼吸ケアが複雑化してきていることを踏まえ、呼吸ケアサポートチーム（RST）を新たに立ち上げ、多職種で連携して診療に当たっている。

短期入所では、2024年度から1E棟と2W棟の2棟に分けて入所を受けている。在宅で行われる医療ケアは日々変化してきており、さまざまな背景の利用者が短期入所を利用している。診療部と棟、相談室で密に連携をとって利用者の状態把握を行っている。横浜市内では重症心身障害児・者のレスパイト施設が不足しているため、安全面に配慮しながら今後も安定した短期入所が行えるよう努めていく。

外来診療では、2024年度から児童精神科の常勤医が着任し、内科系と精神科・児童精神科の外来受診者の総数は前年度を上回る実績を上げることができた。精神科・児童精神科においては、神経発達症におけるリハビリや投薬、併存症への関わりなど利用者のニーズもさまざまであり、今後も多くの利用者に対応していきたい。内科系の外来では、これまでのボツリヌス治療に加え、新たにバクロフェン髄注療法のリフィルを開始した。またてんかん専門医を中心に、難治てんかんの成人移行や薬剤コントロールなどの症例を積極的に受けている。

学術面では、小児神経学会、小児精神神経学会で医局員が学会発表を行い、また様々な学会やセミナーへ多くの医局員が積極的に参加した。医局の勉強会も毎月継続し各自が新たな知識の習得を図っている。

(2) 診療支援部門

① リハビリテーション課

ア 療法実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	理学療法	475	575	537	524	541	511	594	505	503	496	483	503	6,247	6,232	100.2%
	作業療法	290	338	340	349	310	309	332	311	328	308	291	341	3,847	3,998	96.2%
	言語聴覚療法	226	253	234	257	220	236	223	231	219	231	190	256	2,776	2,917	95.2%
	臨床心理	146	136	158	171	155	172	182	165	182	163	169	188	1,987	1,749	113.6%
入所	理学療法	205	361	381	356	368	267	323	318	323	319	240	242	3,703	2,747	134.8%
	作業療法	110	99	106	131	95	97	92	105	113	107	91	62	1,208	1,013	119.2%
	言語聴覚療法	54	71	60	70	59	61	70	46	52	53	40	51	687	825	83.3%
	臨床心理	23	26	32	25	26	30	31	28	38	24	15	18	316	341	92.7%
合計	理学療法	680	936	918	880	909	778	917	823	826	815	723	745	9,950	8,979	110.8%
	作業療法	400	437	446	480	405	406	424	416	441	415	382	403	5,055	5,011	100.9%
	言語聴覚療法	280	324	294	327	279	297	293	277	271	284	230	307	3,463	3,742	92.5%
	臨床心理	169	162	190	196	181	202	213	193	220	187	184	206	2,303	2,090	110.2%
	総合計	1,529	1,859	1,848	1,883	1,774	1,683	1,847	1,709	1,758	1,701	1,519	1,661	20,771	19,822	104.8%
	1日平均件数	69.5	84.5	88.0	81.9	80.6	84.2	80.3	81.4	83.7	81.0	79.9	79.1	81.2	80.6	100.7%

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
理学療法	10	9	6	9	4	7	4	7	2	8	4	8	78	100	78.0%
作業療法	7	10	8	10	6	6	8	5	4	6	6	6	82	98	83.7%
言語聴覚療法	10	9	4	7	4	9	8	6	6	8	13	5	89	103	86.4%
臨床心理	11	13	13	8	11	9	10	11	10	6	9	7	118	84	140.5%
合計	38	41	31	34	25	31	30	29	22	28	32	26	367	385	95.3%

ウ 職員の派遣

PT 派遣 かがやき 月 1 半日・ 朋 月 2 半日

エ リハ職員 部門定数

PT 常勤 14 名 うち産育休 2 名 療養休暇 1 名 欠員 1 名 非常勤月 12 名

OT 常勤 8 名 うち産育休 1 名 非常勤週 1 1 名

ST 常勤 7 名 うち産休 1 名 欠員 2 名 非常勤 1 名

心理常勤 4 名

才 実習生対応

PT 見学実習(1週間) 3名 臨床実習(8週間) 2名 3,000 円／1 日

OT 評価実習(3週間)1名 見学実習(1日)2名 臨床実習(8週間)1名 3,000円/1日

心理 心理実習(8日間)1名 心理実践実習(15日)1名 3,000円/1日

ST 見学実習 13 名 心理見学実習 15 名 30,000 円／1 日

② 薬剤課

ア 調剤院内処方

外来

[illegible]

入院・入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	238	213	230	231	228	307	266	197	229	173	156	174	2,642	3,009	87.8%
	処方件数	644	753	901	666	805	1,143	952	592	747	562	502	563	8,830	10,165	86.9%
	調剤数	840	1,044	1,179	872	1,040	1,505	1,243	754	952	710	638	704	11,481	13,456	85.3%
2E棟	処方箋枚数	266	423	299	298	205	334	338	265	276	188	198	165	3,255	4,120	79.0%
	処方件数	714	1,471	1,074	984	390	1,319	1,091	748	752	596	667	529	10,335	13,298	77.7%
	調剤数	924	1,907	1,415	1,294	449	1,687	1,390	936	937	744	824	659	13,166	17,768	74.1%
2W棟	処方箋枚数	245	226	358	130	203	345	109	154	177	195	113	148	2,403	3,754	64.0%
	処方件数	850	905	1,627	439	824	1,661	248	526	524	892	251	525	9,272	14,494	64.0%
	調剤数	1,057	1,162	2,093	545	1,060	2,163	305	673	641	1,127	321	662	11,809	19,112	61.8%
3E棟	処方箋枚数	229	411	238	389	204	301	336	224	298	256	211	239	3,336	3,653	91.3%
	処方件数	577	1,585	859	1,492	306	1,076	1,176	681	746	850	758	712	10,818	12,028	89.9%
	調剤数	661	2,211	1,151	2,000	333	1,428	1,560	866	981	1,132	974	911	14,208	16,389	86.7%
3W棟	処方箋枚数	245	343	221	264	264	155	288	199	229	172	191	117	2,688	3,314	81.1%
	処方件数	701	1,320	919	892	1,029	359	960	606	555	498	734	229	8,802	11,118	79.2%
	調剤数	878	1,667	1,179	1,113	1,376	460	1,243	765	698	638	943	277	11,237	14,564	77.2%

イ 注射院内処方

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	42	32	70	62	23	83	169	52	47	19	24	3	626	688	91.0%
	処方件数	115	87	153	122	43	169	387	72	94	39	40	6	1,327	1,401	94.7%
	調剤数	173	123	224	153	56	217	524	72	138	59	57	7	1,803	1,914	94.2%
2E棟	処方箋枚数	19	53	18	38	26	33	96	78	77	48	2	40	528	984	53.7%
	処方件数	51	116	49	72	76	74	175	173	157	97	3	117	1,160	2,307	50.3%
	調剤数	75	176	71	84	100	105	252	255	197	128	4	177	1,624	3,357	48.4%
2W棟	処方箋枚数	62	41	48	90	36	63	73	52	42	91	9	37	644	699	92.1%
	処方件数	166	68	137	229	68	180	150	125	114	215	21	71	1,544	1,601	96.4%
	調剤数	243	89	179	326	101	275	203	181	173	325	31	95	2,221	2,265	98.1%
3E棟	処方箋枚数	89	110	60	73	76	87	149	193	184	120	52	91	1,284	1,002	128.1%
	処方件数	214	264	193	238	232	267	349	525	485	272	89	216	3,344	2,957	113.1%
	調剤数	283	335	234	326	272	336	473	736	705	371	89	239	4,399	3,657	120.3%
3W棟	処方箋枚数	43	85	46	126	51	42	70	54	103	80	48	25	773	718	107.7%
	処方件数	95	178	97	326	143	103	112	95	244	199	125	53	1,770	1,522	116.3%
	調剤数	121	254	130	489	214	152	147	138	365	294	193	87	2,584	2,193	117.8%

・職員体制は薬剤師5名（常勤4名 非常勤1名）、薬剤事務員1名（限定常勤1名）で調剤業務を行っている。

・入院処方数の減少は、2024年12月から定期処方が7日分から14日分に変更となったためであり、全体の調剤量は減っていない。

③ 検査課

ア 院内検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	6	11	17	5	9	4	5	5	7	9	2	9	89	76	117.1%
血算	59	51	53	46	51	38	48	40	38	46	26	47	543	483	112.4%
電解質	47	45	47	40	45	33	43	34	30	37	23	42	466	420	111.0%
血中薬物濃度	27	34	33	23	23	23	24	11	31	21	18	20	288	256	112.5%
血液ガス分析	6	14	13	5	6	5	8	4	9	8	1	7	86	78	110.3%
尿定性	24	24	22	21	27	11	21	11	19	11	19	15	225	229	98.3%
尿沈渣	21	20	17	17	22	6	18	10	15	8	18	13	185	197	93.9%
迅速検査	2	1	2	5	4	1	3	2	3	5	2	6	36	50	72.0%
新型コロナウイルス抗原	1	1	1	4	1	2	3	2	3	3	1	2	24	27	88.9%
新型コロナウイルス核酸	4	0	0	66	58	54	63	30	0	1	0	0	276	545	50.6%
肝炎ウイルス検査	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	50.0%
心電図	6	2	5	2	4	1	1	5	4	3	1	1	35	41	85.4%
心電図+CVRR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
脳波	4	5	8	13	7	11	7	2	7	8	8	9	89	98	90.8%
聴力検査	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	5	11	45.5%
超音波検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
合計	207	208	218	251	257	190	244	156	167	161	119	173	2,351	2,519	93.3%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	67	77	67	112	71	80	106	77	97	81	51	55	941	1,167	80.6%
血算	70	83	70	120	76	84	112	79	108	87	58	59	1,006	1,229	81.9%
電解質	55	67	49	96	60	69	92	68	83	69	47	51	806	922	87.4%
血中薬物濃度	10	12	10	18	26	15	20	15	20	19	16	18	199	259	76.8%
血液ガス分析	50	57	42	90	49	49	76	48	62	54	34	45	656	838	78.3%
尿定性	27	29	24	42	32	31	41	31	38	32	24	12	363	468	77.6%
尿沈渣	23	26	22	32	25	24	32	26	33	23	21	11	298	392	76.0%
迅速検査	37	42	23	72	42	38	57	43	71	50	17	43	535	581	92.1%
新型コロナウイルス抗原	25	24	17	44	15	25	31	30	46	33	19	24	333	296	112.5%
新型コロナウイルス核酸	13	4	0	18	7	6	7	10	1	2	3	12	83	207	40.1%
肝炎ウイルス検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
心電図	2	3	2	12	21	2	16	12	16	10	8	1	105	95	110.5%
心電図+CVRR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
脳波	1	5	0	3	2	2	1	0	1	1	2	1	19	25	76.0%
聴力検査	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
超音波検査	3	6	3	2	4	5	7	4	4	4	4	4	50	50	100.0%
乳がん検診超音波検査	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	30	28	107.1%
合計	383	435	329	662	430	430	628	443	580	465	304	336	5,425	6,563	82.7%

イ 外注検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	1,048	1,111	1,018	935	1,107	715	975	717	871	848	504	991	10,840	8,488	127.7%
細菌培養	0	0	3	0	2	1	0	0	0	0	0	1	7	7	100.0%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新型コロナウイルスPCR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1,048	1,111	1,021	935	1,109	716	975	717	871	848	504	992	10,847	8,495	127.7%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	838	1,117	826	1,576	1,426	1,315	1,613	1,016	1,395	1,134	984	821	14,061	14,695	95.7%
細菌培養	54	52	35	78	55	60	72	47	61	58	36	22	630	881	71.5%
病理・細胞診	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	4	0	
新型コロナウイルスPCR	54	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	85	84	101.2%
合計	947	1,169	861	1,654	1,482	1,407	1,685	1,063	1,457	1,192	1,020	843	14,780	15,660	94.4%

7月に再開していた「新型コロナウイルス NEAR 法検査」の短期入所前検査を11月で終了したため、以降の外来同検査数は減少した。また、開所時より使用していた自動血球計数装置を2025年2月に新型機へ更新し、機器精度の向上を図った。

④ 放射線課

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C T	1	3	4	2	0	0	3	0	0	0	0	0	13	22	59.1%
一般撮影	43	33	53	59	53	41	63	76	66	68	69	61	685	551	124.3%
ポータブル撮影	1	0	1	0	1	0	0	1	0	2	1	0	7	10	70.0%
透視検査	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	15	13.3%
超音波検査(BTX)	19	18	20	17	18	14	15	12	22	10	3	0	168	333	50.5%
画像ファイル	16	11	10	8	9	7	11	17	12	17	4	7	129	121	106.6%
歯科デンタル	3	8	5	3	3	0	2	1	9	4	6	0	44	40	110.0%
合計	83	73	94	89	85	62	94	107	109	101	83	68	1,048	1,092	96.0%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C T	10	0	6	8	31	19	24	5	11	25	4	6	149	204	73.0%
一般撮影	18	13	20	36	37	29	45	23	63	37	37	26	384	344	111.6%
ポータブル撮影	58	60	61	70	54	46	63	53	45	39	22	29	600	742	80.9%
透視検査	9	4	5	6	3	8	5	3	10	4	3	7	67	76	88.2%
超音波検査(BTX)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	
画像ファイル	4	9	7	11	1	3	10	6	7	7	3	1	69	96	71.9%
歯科デンタル	0	0	2	0	2	2	1	1	3	1	2	3	17	23	73.9%
合計	99	86	101	131	128	107	148	91	139	113	71	75	1,289	1,485	86.8%

超音波検査(BTX)は、他課も介助に入るようになったため減少した。

⑤栄養課

ア 入所食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	3,775	3,910	3,750	4,058	4,118	4,211	4,301	4,241	4,372	4,447	3,963	4,507	49,653	48,037	103.4%
胃瘻食朝	1,304	1,308	1,198	1,272	1,304	1,202	1,264	1,225	1,241	1,220	1,112	1,202	14,852	15,788	94.1%
胃瘻食昼	1,820	1,857	1,707	1,751	1,875	1,775	1,862	1,752	1,782	1,799	1,635	1,771	21,386	22,292	95.9%
胃瘻食夕	1,508	1,587	1,493	1,537	1,631	1,586	1,666	1,601	1,605	1,614	1,448	1,578	18,854	19,349	97.4%
経管栄養食	16,157	16,468	15,498	16,010	17,024	16,284	16,732	16,098	16,899	16,747	15,249	17,000	196,166	197,807	99.2%
日中一時支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
嚥下外来食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	24,564	25,130	23,646	24,628	25,952	25,058	25,825	24,917	25,899	25,827	23,407	26,058	300,911	303,273	99.2%

イ 栄養指導

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
肥満	加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	非加算	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	
低栄養	加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摂食嚥下障害	加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	加算	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	100.0%
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	
合計	加算	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	33.3%
	非加算	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3	0	

(3) 居住支援部門

① 長期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規入所受入れ	0	0	0	0	3	2	0	0	1	0	1	0	7	0	
1E棟	479	496	555	702	725	720	743	719	743	740	672	738	8,032	5,783	138.9%
2E棟	927	929	899	929	957	956	955	895	958	957	881	992	11,235	11,505	97.7%
2W棟	930	939	814	713	713	696	744	720	744	743	672	744	9,172	11,483	79.9%
3E棟	932	960	920	960	992	953	992	960	986	984	876	992	11,507	11,680	98.5%
3W棟	960	992	936	920	979	955	989	954	985	981	893	980	11,524	11,659	98.8%
小計	4,228	4,316	4,124	4,224	4,366	4,280	4,423	4,248	4,416	4,405	3,994	4,446	51,470	52,110	98.8%
1日平均(日/床)	140.9	139.2	137.5	136.3	140.8	142.7	142.7	141.6	142.5	142.1	137.7	143.4	140.6	142.4	98.8%

7月より短期入所の受入れを2棟体制(1Eと2W)とした。

② 日中活動

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数	39	31	34	38	37	31	35	31	30	31	31	30	398	417	95.4%
参加延べ人数	207	165	165	155	154	127	148	130	123	120	127	126	1,747	2,148	81.3%

9月から学生（分教室）の実習スタート（参加人数に含む 高校三年2回、二年1回）

【活動内容】

外気浴・散歩、スヌーズレン、ミュージックケア、ボーリング、創作（マープリング風大型作品）、ボッチャ、シアター、読み聞かせ、Wii、リフレクソロジー、ファンタジールーム、感覚室あそび（リハコラボ）、正月あそび、書初め、音シアター、クイズゲーム、ボランティア演奏

*別途、入所利用者夏休み企画（フリー参加）、ファンタジールームの同法人利用者及び白峰保育園への来訪企画実施



外気浴・散歩



リハコラボ



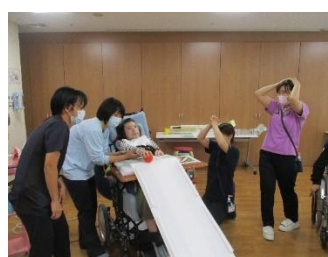
シアター



ボーリング



創作（マープリング）



ボッチャ



スヌーズレン



ミュージックケア



読み聞かせ



正月あそび



ボランティア演奏



書初め

(4) 在宅支援部門

① 短期・入院利用等実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
短期入所 （延数）	1E棟	269	272	190	170	171	173	175	167	177	183	163	179	2,289	4,646	49.3%
	2E棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2W棟	0	0	25	146	175	172	173	180	186	183	146	184	1,570	2	78500.0%
	3E棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3W棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	269	272	215	316	346	345	348	347	363	366	309	363	3,859	4,648	83.0%
	1日平均（日/床）	9.0	8.8	7.2	10.2	11.2	11.5	11.2	11.6	11.7	11.8	11.0	11.7	10.6	12.7	83.2%
申し込み件数		77	75	74	89	76	72	74	76	64	48	71	74	870	880	98.9%
利用不可 ※		35	33	44	21	17	18	12	18	15	4	23	23	263	232	113.4%
入院 1E棟のみ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	

※満床等の理由により入所対応ができなかった件数

月の平均利用申込件数は昨年度と同様に 73 件超であった。7 月より 2 棟での受け入れを開始し、計 12 床での運用を行ったため利用不可の件数が一時減少したが、棟職員の人員不足から 1 日の入所者数を制限せざる状況となり、結果的に利用不可数が増加した。

② 医療福祉相談室

相談調整業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
受診相談	147	144	134	156	103	126	148	122	92	82	117	119	1,490	1,882	79.2%
関係機関調整	175	224	202	165	181	150	221	144	187	206	194	134	2,183	2,521	86.6%
一般相談 ※二次相談含む	254	300	290	330	318	288	274	276	283	297	252	254	3,416	3,947	86.5%
短期入所・相談調整	425	458	360	488	452	445	437	371	367	386	311	285	4,785	5,224	91.6%
計画相談支援・相談調整	119	114	88	108	110	100	118	121	123	96	87	83	1,267	1,185	106.9%
合計	1,120	1,240	1,074	1,247	1,164	1,109	1,198	1,034	1,052	1,067	961	875	13,141	14,759	89.0%

計画相談支援業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
立案数	4	5	4	2	2	2	3	10	4	7	6	2	51	27	188.9%
モニタリング数	8	10	9	8	12	15	7	8	9	3	10	12	111	114	97.4%
合計	12	15	13	10	14	17	10	18	13	10	16	14	162	141	114.9%

一般相談は、発達障害関連で他支援機関との連携が必要なケースが大きく増加している。そのため、訪問や外部機関主催の会議等に出席する機会が増えている。計画相談はモニタリング時期がまちまちであったのを半年ごとに統一した影響で、立案数は増加しモニタリング数は微減となっている。

(5) 安全管理部門

インシデント・アクシデント件数

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
レベル	0	8	10	10	6	7	8	14	7	14	13	9	4	110	71	154.9%
	1	25	32	14	26	29	21	31	22	41	26	24	21	312	328	95.1%
	2	4	13	14	9	20	24	17	20	10	21	13	16	181	172	105.2%
	3-a	3	2	5	4	8	6	4	4	2	9	5	1	53	75	70.7%
	3-b	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	5	40.0%
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	

3-b 事例は手指骨折2件と昨年度の5件に比べ減少した。ヒヤリ・ハットのゼロレベルの件数が増えている。

(6) 管理部門

管理課

職員採用状況（非常勤職員は除く。）

	職種	医師	看護師	生活支援員	福祉相談員	理学療法士	作業療法士	合計
上半期	採用者	1	9	3	1	2	1	17
	退職者	0	3	5	0	1	0	9
下半期	採用者	0	6	4	0	1	0	11
	退職者	1	13	6	0	1	0	21
合計	採用者	1	15	7	1	3	1	28
	退職者	1	16	11	0	2	0	30

看護師及び生活支援員ともに、退職者が採用者を上回る状況となった。

Ⅲ 横浜療育医療センター運営事業

2024 年度の全体目標として策定した 4 つの運営指針それぞれについて総括を記す。

(1) 人材確保と育成の強化およびウェルビーイングの推進

各種人材紹介会社の利用、合同就職説明会参加、学校訪問、新規採用サイトの公開、Instagram の立ち上げなどを行ったが、新たな人材確保には至らなかった。一方、職員のウェルビーイングプロジェクト活動を定期的に開催し職員間のコミュニケーションは向上している。マスコットキャラクター「ほのぼー」グッズはほのぼの祭などで販売され好評だった。管理職研修は時間が作れず未実施に終わった。

(2) 実効性の高い災害時事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）の策定

2 回の大規模訓練によって新たな問題点を明らかにし、マニュアルの細部を修正して班単位の小訓練を繰り返すことにより、更に現実在即した内容になった。

(3) 長期入所者の健康管理と彩りある生活の向上

今年度は 7 名の方が逝去されたが、それぞれアドバンスケアプランニングに沿った適切な対応を行ってお見送りできた。医療方針の決定が可能な保護者が不在の利用者が増え、その場合の治療決定の手順について検討中である。

(4) 在宅支援事業の安全で柔軟な運用

職員の欠員増加に伴い、短期入所、えーる、まいはーとは業務縮小を強いられた。特に短期入所は継続が困難となり今年度末で一旦休止を余儀なくされるという横療開設以来の機能不全に陥った。生活介護では 5 名が逝去され、2 名が転居されて利用率が低下した。

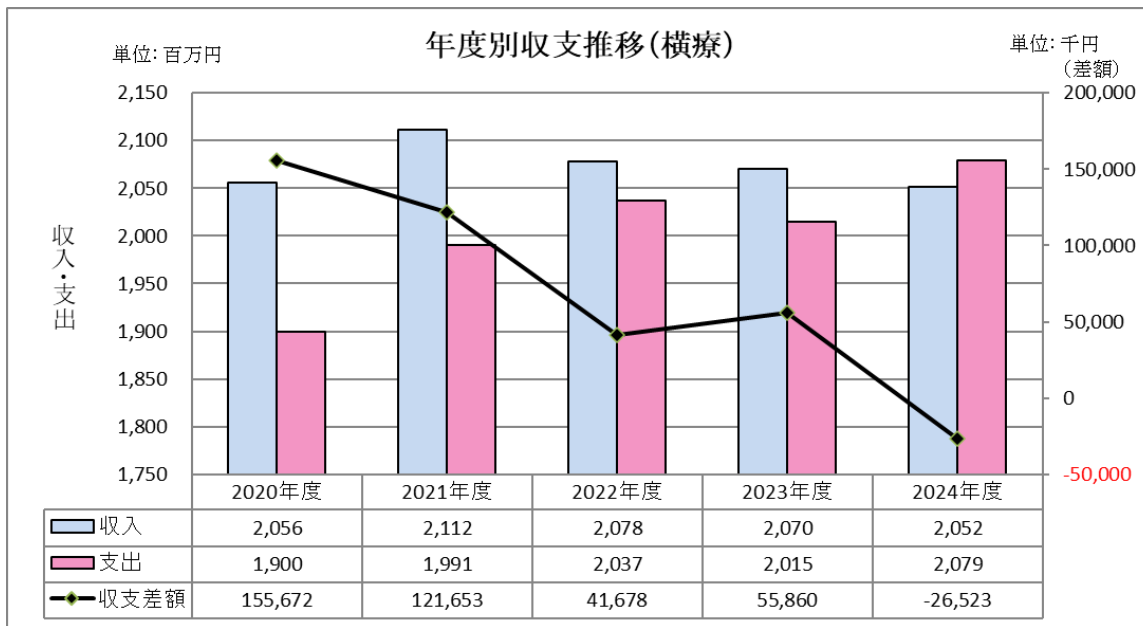
総括として、欠員が拡大して各部署に過大な負担が掛かるなかで職員はよく尽力したが、それも限界となって特に在宅支援事業の更なる縮小と休止を選択せざるを得なかった。その結果、在宅利用者への大きなサービス低下と当期資金収支差額の赤字を招き、次年度への大きな課題を残した一年となった。

1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	95 名/日	90.9 名/日	95.7%
短期入所	8 名/日	6.4 名/日	80.0%
外来診療 (短期入所外来を含む)	88 名/日	84.3 名/日	95.8%
	97 名/日	91 名/日	93.5%
生活介護（通所）	16 名/日	14.3 名/日	89.4%
訪問看護ステーションえーる	120 件/月	168 名/月	140.0%
放課後等デイサービスはみんぐ	4.6 名/日	4 名/日	87.0%
ヘルパーステーションまいはーと	285 件/月	267.6 件/月	93.9%
保育室ひかり	16 名/月	16 名/日	100.0%
病児保育室あさひ	2.1 名/日	2.3 名/日	109.5%

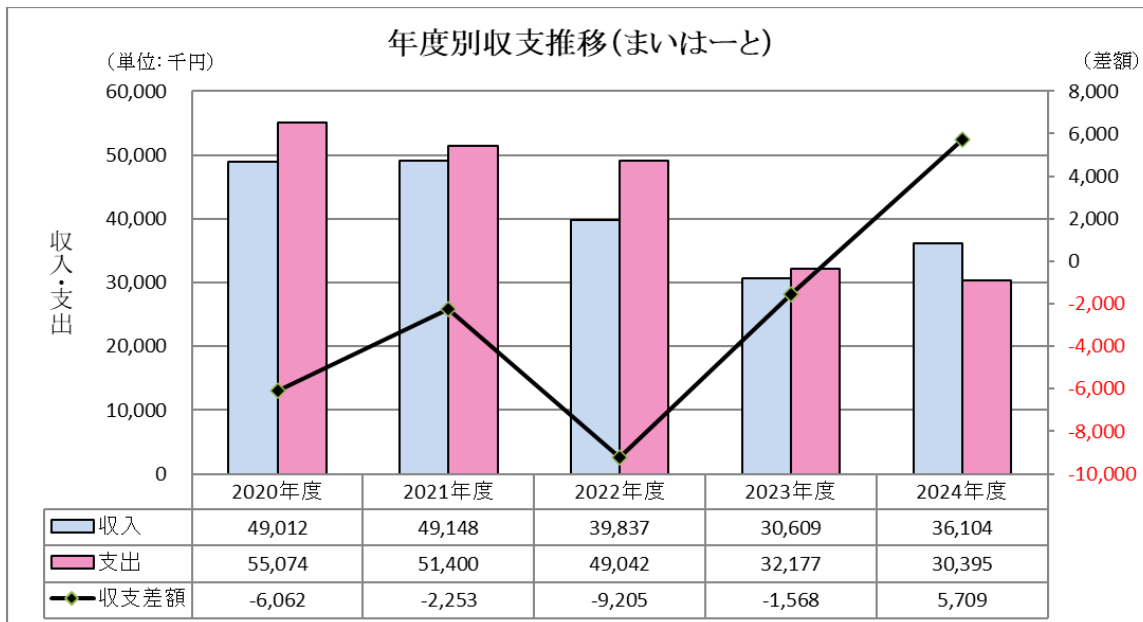
2 資金収支差額の推移

(1) 横浜療育医療センター



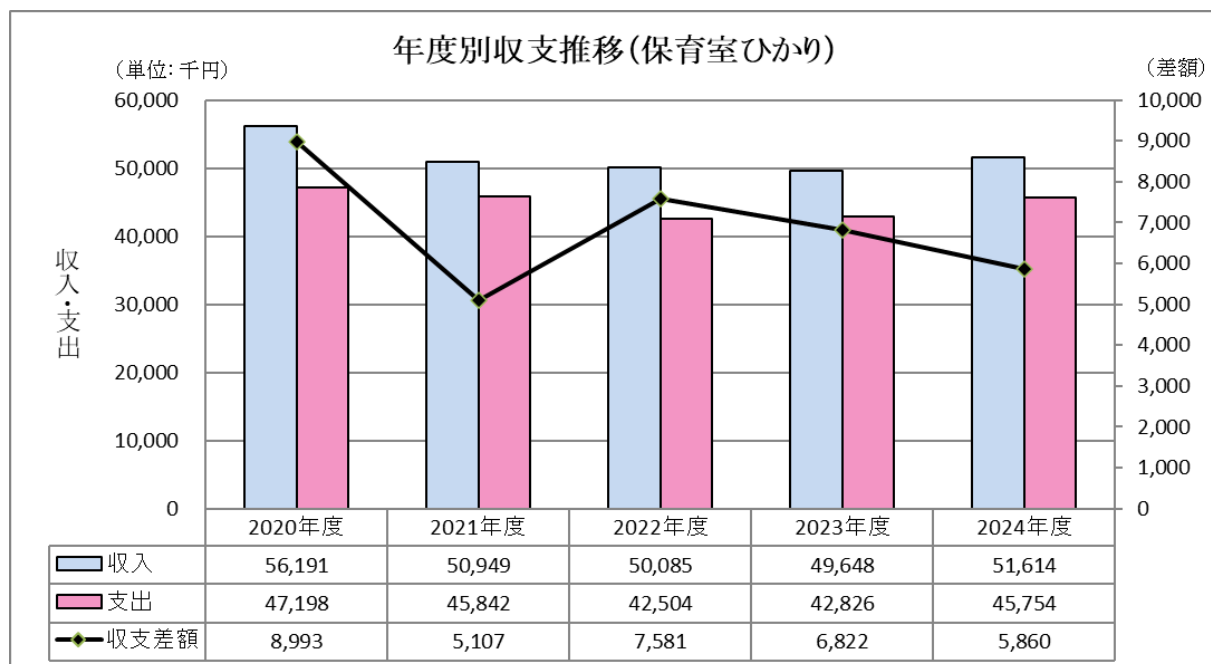
2024年度は、長期利用者8名がご逝去した事や人員不足による短期入所の受入れ制限により、入所の収入が予算を大きく下回る結果となった。支出については、人件費や人材確保に伴う支出が予算を大きく上回り、収入減支出増となり、厳しい結果となった。

(2) ヘルパーステーションまいはと



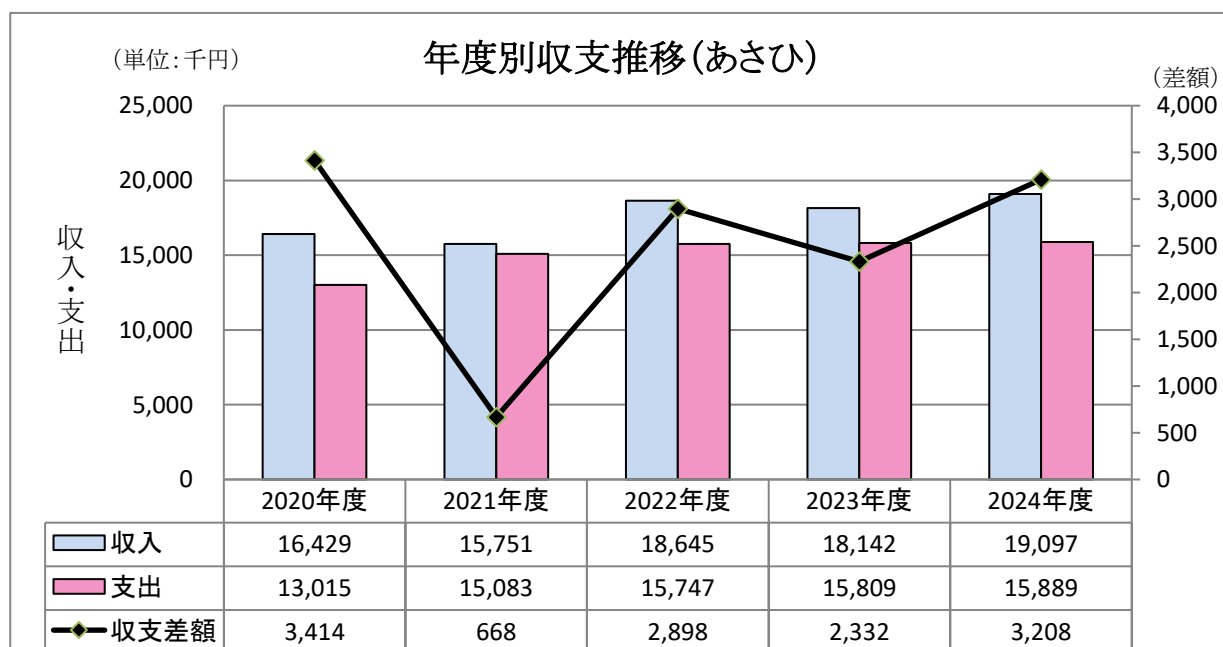
訪問件数が前年度比118%と増加したことで、収入が予算比118%となった。支出が抑えられたこともあり、収支差額は、予算比457%と大きく上回る結果となった。

(3) 保育室ひかり



収入は予算を下回ったが、支出は主に人件費が抑えられたことで、予算比 88%に抑えられた。収支差額は、予算比 171%と上回る結果となった。

(4) 病児保育室あさひ



運営費の基本分単価上昇や当日キャンセル対応加算の新設により、収入が予算比 105%となり、収支差額も予算比 154%と予算を上回る結果となった。

3 センター全体の実績

(1) 長期・短期入所利用状況

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期 95床	定数	2,850	2,945	2,850	2,945	2,945	2,850	2,945	2,850	2,945	2,945	2,660	2,945	34,675	34,770	99.7%
	実績数	2,707	2,767	2,699	2,788	2,782	2,667	2,809	2,762	2,850	2,845	2,608	2,901	33,185	34,206	97.0%
	1日の平均	90.2	89.3	90.0	89.9	89.7	88.9	90.6	92.1	91.9	91.8	93.1	93.6	90.9	93.7	97.0%
	占床率	95.0%	94.0%	94.7%	94.7%	94.5%	93.6%	95.4%	96.9%	96.8%	96.6%	98.0%	98.5%	95.7%	98.4%	97.3%
短期 9床	定数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3,285	3,294	99.7%
	実績数	164	205	192	229	223	170	206	190	214	193	173	187	2,346	2,655	88.4%
	1日の平均	5.5	6.6	6.4	7.4	7.2	5.7	6.6	6.3	6.9	6.2	6.2	6.0	6.4	7.3	88.2%
	占床率	60.7%	73.5%	71.1%	82.1%	79.9%	63.0%	73.8%	70.4%	76.7%	69.2%	68.7%	67.0%	71.3%	80.6%	88.5%
入院 1床	定数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	366	99.7%
	実績数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1日の平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	占床率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
合計 105床	定数	3,150	3,255	3,150	3,255	3,255	3,150	3,255	3,150	3,255	3,255	2,940	3,255	38,325	38,430	99.7%
	実績数	2,871	2,972	2,891	3,017	3,005	2,837	3,015	2,952	3,064	3,038	2,781	3,088	35,531	36,861	96.4%
	1日の平均	95.7	95.9	96.4	97.3	96.9	94.6	97.3	98.4	98.8	98.0	99.3	99.6	97.3	100.7	96.7%
	占床率	91.1%	91.3%	91.8%	92.7%	92.3%	90.1%	92.6%	93.7%	94.1%	93.3%	94.6%	94.9%	92.7%	95.9%	96.7%

(2) 外来利用状況

外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	681	639	623	667	616	621	653	643	662	572	534	606	7,517	7,334	102.5%
耳鼻科	27	26	24	18	26	21	31	28	29	22	30	45	327	304	107.6%
リハビリテーション課	735	737	732	766	720	759	792	762	739	766	734	789	9,031	9,090	99.4%
整形外科	33	29	29	30	21	29	30	27	19	16	20	22	305	329	92.7%
皮膚科	7	0	5	1	2	5	1	6	4	2	4	1	38	45	84.4%
精神科	31	31	24	31	30	34	30	33	34	37	40	31	386	271	142.4%
歯科	133	164	221	197	170	125	140	138	183	178	186	156	1,991	1,935	102.9%
短期外来	162	205	193	229	224	169	204	190	214	193	173	187	2,343	2,607	89.9%
放デイ外来	83	81	76	78	65	69	75	61	55	59	64	71	837	930	90.0%
外来者総数	1,892	1,912	1,927	2,017	1,874	1,832	1,956	1,888	1,939	1,845	1,785	1,908	22,775	22,845	99.7%
1日平均	87.8	87.9	93.1	88.7	85.8	93.2	86.2	91.2	93.2	93.2	95.5	92.1	90.7	90.4	100.2%
1日平均(短期除く)	82.4	81.3	86.7	81.3	78.6	87.5	79.6	84.9	86.3	86.9	89.6	86.1	84.3	83.3	101.1%

(3) 地域交流

ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動回数	33	37	26	25	42	47	39	38	42	36	34	35	434	338	128.4%
活動延べ回数	49	56	39	38	58	62	52	53	62	46	49	50	614	461	133.2%

【主な活動内容】ピアノ、エレクトーン演奏、絵本などの読み聞かせ、植栽管理、施設外回り整備、理美容、裁縫、入浴後ドライヤー介助、リネン交換他

4 各部署の報告

(1) 診療部門

① 外来診療

コロナ禍の影響も減少し、短期入所を除く外来利用者数は、概ね安定していた。

児童精神科については前年度を上回る受診者数を記録した。発達障害児者については利用者数も多く、近隣療育センターからの紹介や連携が進んでおり、学校や通所施設などとの関係においても、外来診療が重要な役割を果たしている。

内科、小児科は昨年同様近隣施設からのリハビリ移行ケースが多数であり、リハビリオーダーを含めた外来が多い。医療ケアが多く処方を要する重症者については、当院での救急受診及び入院対応が困難なため、在宅往診医や訪問看護ステーションの紹介や急性期病院紹介を行っているケースが昨年以上に増えている。主治医としての横療外来の役割やそれに伴う医学管理料の変更など、変化への適応力が問われている。

耳鼻科は常勤医の着任に伴い、知的障害者を含めた外来患者の受入れの増加が予想される。

② 入所・入院・通所

長期入所では、COVID-19 感染症のスタッフ及び利用者での罹患が数名見られたものの、いずれも重症化なく推移した。

2024 年度は7 名の方が逝去され、死亡原因としては、3 名は大腸がん、1 名は悪性リンパ腫であった。平均年齢が 50 歳前後で、現在も担癌状態の利用者がおり、常時消化器がん患者への対応が必要な状況である。便潜血及び腫瘍マーカー、CT(造影)での評価を要する機会も増え、診療方針決定や受診先の相談など、非常勤外科医の役割が欠かせないものとなっている。この中では診療方針の決定等について、家族不在や第三者後見人の状況が実際に生じており、ACP を踏まえた上での臨床倫理委員会の必要性が逼迫し、次年度に向けて具体的に構築する予定である。

短期入所については、職員の欠員が持続し安全な利用の継続が厳しくなり、段階的に受け入れ数を減少した。状況改善が見込めず、2025 年 4 月以降、短期入所を一時中止とした。ご家族からの強いご要望に向けて次年度は全部署協働し、持続可能な短期入所の早期再開に注力する。

通所は年度内に逝去 5 名、転居等で 2 名の欠員が生じ、また 4 名の方が気管切開となり顕著な医療ケア度の重症化が進んだ。生活介護事業存続への政策面での要望を行ったもの、送迎事業を皮切りにこの数年以内に事業自体の見直しは必要である。

(2) 診療支援部門

① リハビリテーション課

ア 療法実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	理学療法	561	549	540	547	534	577	599	581	583	565	542	612	6,790	6,560	103.5%
	作業療法	264	277	257	291	261	242	288	269	287	289	271	281	3,277	3,373	97.2%
	言語聴覚療法	239	238	225	261	246	243	256	234	258	231	238	179	2,848	3,277	86.9%
	臨床心理	91	102	96	127	104	78	107	100	105	107	92	114	1,223	1,031	118.6%
	音楽療法	8	7	7	8	6	8	7	8	7	8	7	6	87	65	133.8%
入所	理学療法	112	142	147	167	150	170	203	175	187	177	151	153	1,934	1,994	97.0%
	作業療法	51	56	67	78	45	65	81	70	78	69	55	48	763	395	193.2%
	言語聴覚療法	54	46	55	62	50	60	54	63	76	55	52	43	670	476	140.8%
	臨床心理	25	28	25	19	22	27	19	31	24	15	13	10	258	273	94.5%
	音楽療法	11	11	9	11	10	11	9	9	13	10	9	11	124	119	104.2%
合計	理学療法	673	691	687	714	684	747	802	756	770	742	693	765	8,724	8,554	102.0%
	作業療法	315	333	324	369	306	307	369	339	365	358	326	329	4,040	3,768	107.2%
	言語聴覚療法	293	284	280	323	296	303	310	297	334	286	290	222	3,518	3,753	93.7%
	臨床心理	116	130	121	146	126	105	126	131	129	122	105	124	1,481	1,304	113.6%
	音楽療法	19	18	16	19	16	19	16	17	20	18	16	17	211	184	114.7%
	総合計	1,416	1,456	1,428	1,571	1,428	1,481	1,623	1,540	1,618	1,526	1,430	1,457	17,974	17,563	102.3%
	1日平均件数	67.4	69.3	71.4	71.4	68.0	77.9	73.8	77.0	80.9	80.3	79.4	72.9	74.2	72.0	103.0%

イ 外来新規患者数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
理学療法	9	5	6	8	3	7	4	6	2	6	5	6	67	66	101.5%
作業療法	7	6	4	7	6	4	8	6	3	6	4	5	66	48	137.5%
言語聴覚療法	2	7	4	8	7	7	7	7	5	4	1	3	62	54	114.8%
臨床心理	5	8	4	13	9	7	12	11	8	9	7	16	109	90	121.1%
音楽療法	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	5	1	500.0%
合計	24	27	18	36	25	25	31	30	20	25	17	31	309	259	119.3%

2024年度の人員配置について、2023年度末に退職者がいたPT・OT・STに1名ずつ入職した。新入職員は3職種とも、主に入所の担当を中心に関わり育成を行った。

PTについて、育休3ヶ月取得者が1名あり、5月から育休後復帰職員が時短勤務となったため、前年度新採用職員が外来担当を引継ぎ、その分入所の件数は減ったが、トータルでは前年度同様の実績となった。

STについて、新入職員による上半期の稼働が少なかったことと、業務調整の必要な職員が1名いたこと、2月から産休1名、退職者1名いたことで、1月から新患を受け入れ停止した影響もあり、トータルの実績は大きく低下した。引き続き産休職員による欠員があるため、新患は月3名に限定して再開させる予定だが、次年度も実績は低下することが予測される。

心理について、前年度に続き常勤2名、限定1名の3名体制で対応した。既存患者でも評価は心理にオーダー出されたことや、心理相談が保険適応になったことで、件数が増えて大きく前年度実績を上回った。

新患数は全体的に前年度の実績を大きく上回り、前年度減少した分を取り戻すことができた。

② 薬剤課

ア 調剤院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科	処方箋枚数	6	5	7	8	4	4	4	5	14	9	4	7	77	156	49.4%
	処方件数	9	7	9	13	10	8	9	6	24	25	4	9	133	272	48.9%
	調剤数	11	9	10	14	15	9	11	6	26	29	4	10	154	288	53.5%
耳鼻咽喉科	処方箋枚数	3	0	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	8	4	200.0%
	処方件数	3	0	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	9	5	180.0%
	調剤数	3	0	5	0	0	3	2	0	0	0	0	0	13	9	144.4%
歯科	処方箋枚数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%
	処方件数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%
	調剤数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%
救急外来	処方箋枚数	3	3	2	2	2	1	1	5	4	5	4	1	33	72	45.8%
	処方件数	7	6	5	4	4	1	3	10	8	11	7	1	67	152	44.1%
	調剤数	8	7	5	5	7	2	5	10	8	15	8	1	81	169	47.9%
整形外科	処方箋枚数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%
	処方件数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%
	調剤数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%
皮膚科	処方箋枚数	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	100.0%
	処方件数	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	3	100.0%
	調剤数	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	3	100.0%
通所	処方箋枚数	6	4	6	1	7	1	5	0	5	3	2	3	43	53	81.1%
	処方件数	6	5	6	1	8	1	8	0	8	4	2	3	52	60	86.7%
	調剤数	7	6	6	1	11	1	8	0	10	4	2	3	59	64	92.2%

入院・入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟	処方箋枚数	335	374	234	366	201	235	363	332	303	240	228	250	3,461	3,270	105.8%
	処方件数	1,479	1,793	773	1,824	767	1,095	1,582	1,253	1,157	1,212	1,200	935	15,070	14,885	101.2%
	調剤数	2,053	2,481	974	2,468	1,048	1,492	2,184	1,616	1,506	1,634	1,691	1,223	20,370	19,910	102.3%
B棟	処方箋枚数	376	342	177	318	151	240	323	216	247	229	220	276	3,115	3,191	97.6%
	処方件数	1,363	1,369	685	1,384	409	1,090	1,312	723	996	944	855	1,289	12,419	12,950	95.9%
	調剤数	1,775	1,796	915	1,817	514	1,528	1,815	1,014	1,330	1,251	1,159	1,705	16,619	17,002	97.7%
C棟	処方箋枚数	421	456	262	499	308	411	440	425	396	350	337	369	4,674	4,968	94.1%
	処方件数	1,957	2,511	940	2,560	1,100	1,630	2,040	2,098	1,678	1,621	1,660	2,067	21,862	21,955	99.6%
	調剤数	2,584	3,408	1,141	3,288	1,404	2,087	2,530	2,654	2,063	1,943	2,178	2,697	27,977	28,075	99.7%

イ 注射院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比	前年度比
外来	処方箋枚数	12	6	17	30	17	13	181	303	80	16	22	17	714	934	76.4%
	処方件数	12	6	17	30	17	13	181	303	80	16	22	17	714	935	76.4%
	調剤数	13	6	20	33	22	14	184	305	82	18	22	20	739	954	77.5%

入所・入院

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比	前年度比
A棟	処方箋枚数	121	74	86	33	45	84	113	165	84	93	72	45	1,015	1,203	84.4%
	処方件数	224	150	129	43	89	105	196	266	124	116	96	68	1,606	2,261	71.0%
	調剤数	336	222	173	63	147	117	227	363	162	132	106	84	2,132	3,125	68.2%
B棟	処方箋枚数	185	100	52	84	69	27	29	37	93	55	27	125	883	727	121.5%
	処方件数	305	166	102	182	147	39	29	51	112	90	63	256	1,542	1,110	138.9%
	調剤数	391	183	115	213	232	57	29	69	168	131	95	412	2,095	1,471	142.4%
C棟	処方箋枚数	80	61	210	164	70	135	166	199	346	195	125	150	1,901	1,906	99.7%
	処方件数	115	114	422	296	117	246	309	327	611	325	244	243	3,369	3,312	101.7%
	調剤数	118	160	569	394	151	344	380	396	808	376	277	293	4,266	4,667	91.4%

2024年度も医薬品の供給不安は継続され、医薬品確保のため在庫数が増加した。

前年度は新型コロナ治療薬の薬剤費が公費支援されていたため、外来院内処方件数がゾコーバ36件、ラゲブリオ2件だったが、2024年度は公費支援の終了により自己負担額が増加し、ゾコーバ1件、ラゲブリオ2件と大きく減少した。そのため小児科、救急外来ともに処方箋枚数・件数・調剤数ともに減少した。

同様に、新型コロナワクチンの全額公費負担による無料接種も前年度で終了したため、外来注射処方箋枚数も減少した。

③ 検査課

ア 院内検査

外来・短期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	23	33	39	37	35	17	36	27	29	23	12	17	328	377	87.0%
血算	27	49	52	62	64	37	44	36	38	27	52	28	516	558	92.5%
血液像鏡検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
電解質	18	31	39	31	39	20	36	23	54	17	11	15	334	360	92.8%
迅速血糖（課内のみ）	1	2	2	1	3	0	2	1	2	2	0	2	18	23	78.3%
血中薬物濃度														65	
血液ガス分析	5	19	20	12	11	3	9	10	8	4	3	0	104	111	93.7%
血液型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
交差適合試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
尿定性	11	21	23	38	40	17	16	12	12	4	1	17	212	276	76.8%
尿沈渣	7	20	21	15	16	7	13	9	8	3	39	5	163	154	105.8%
迅速検査	25	23	24	31	23	2	20	40	39	19	5	17	268	257	104.3%
遺伝子検査	27	26	25	27	22	18	25	31	41	23	17	11	293	388	75.5%
肝炎ウイルス検査	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	12	18	66.7%
心電図	4	14	21	0	27	14	2	2	5	0	3	2	94	127	74.0%
脳波	4	7	1	3	7	2	6	3	3	4	1	2	43	42	102.4%
超音波検査（乳房）	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
合計	158	246	267	257	287	137	209	194	242	126	144	120	2,387	2,756	86.6%

入院・長期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	85	67	82	76	74	78	108	96	101	68	47	83	965	997	96.8%
血算	85	63	82	75	74	78	110	97	102	68	47	83	964	1,016	94.9%
血液像鏡検	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	6	5	120.0%
電解質	64	47	49	51	55	51	64	72	77	47	36	50	663	694	95.5%
迅速血糖（課内のみ）	1	1	2	0	2	0	3	11	4	3	2	0	29	34	85.3%
血中薬物濃度														13	
血液ガス分析	26	14	16	17	31	14	31	29	21	18	6	21	244	317	77.0%
血液型	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%
交差適合試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
尿定性	8	19	18	12	40	23	37	32	24	12	12	15	252	218	115.6%
尿沈渣	6	19	18	11	16	21	33	32	23	12	12	14	217	209	103.8%
迅速検査	30	23	43	30	23	37	64	26	33	25	15	23	372	408	91.2%
遺伝子検査	54	13	15	38	22	18	24	9	18	14	9	12	246	136	180.9%
肝炎ウイルス検査	3	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	12	54	22.2%
心電図	0	1	0	0	27	10	28	20	5	0	3	2	96	91	105.5%
脳波	2	1	1	0	1	4	4	2	1	1	2	0	19	17	111.8%
超音波検査（乳房）	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	50.0%
合計	366	274	326	310	366	336	506	426	410	271	192	304	4,087	4,213	97.0%

イ 外注検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	45	129	23	109	101	51	90	68	75	68	60	54	873	956	91.3%
細菌培養	26	43	77	30	33	22	28	22	25	28	22	17	373	323	115.5%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	病0 細0	病1 細1	
合計	71	172	100	139	134	73	118	90	100	96	82	71	1,246	1,281	97.3%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	87	81	71	60	187	99	162	174	131	68	57	76	1,253	1,151	108.9%
細菌培養	25	22	18	28	77	41	67	57	38	27	32	37	469	429	109.3%
病理・細胞診	1	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	2	病4 細5	細3	300.0%
合計	113	103	92	88	264	140	229	234	169	95	89	115	1,731	1,583	109.3%

遺伝子検査は、感染症の流行の推移により減少傾向にあった。病理・細胞診検査は、重症度が高い利用者が多くみられたため、例年より増加した。

院内血中濃度検査は、測定機の経年劣化による動作不良で、2023年7月に運用を終えた。

④ 放射線課

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C T	5	25	21	15	11	8	6	5	3	1	3	3	106	121	87.6%
一般撮影	58	103	106	79	58	61	58	32	45	39	59	59	757	825	91.8%
ポータブル撮影	8	3	3	4	6	4	7	9	6	4	1	1	56	43	130.2%
透視検査（内視鏡含む）	8	8	8	11	10	8	10	5	11	7	9	8	103	142	72.5%
超音波検査	0	2	1	4	0	2	0	1	3	0	1	0	14	14	100.0%
画像ファイル	6	13	10	9	10	5	3	10	7	5	7	5	90	88	102.3%
歯科デンタル	14	11	7	13	5	11	6	7	5	3	11	10	103	54	190.7%
合計	99	165	156	135	100	99	90	69	80	59	91	86	1,229	1,287	95.5%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C T	15	10	17	14	32	30	45	34	36	33	26	8	300	303	99.0%
一般撮影	6	12	13	15	6	13	11	18	1	6	6	7	114	132	86.4%
ポータブル撮影	101	68	74	87	97	70	116	112	120	95	64	62	1,066	1,054	101.1%
透視検査(内視鏡含む)	46	41	44	44	46	43	50	42	55	49	43	46	549	505	108.7%
超音波検査	8	4	7	5	11	11	5	18	16	14	9	17	125	100	125.0%
画像ファイル	2	3	1	7	1	2	2	8	2	3	2	6	39	33	118.2%
歯科デンタル	1	2	0	2	2	0	0	0	2	1	0	0	10	21	47.6%
合計	179	140	156	174	195	169	229	232	232	201	150	146	2,203	2,148	102.6%

全体的に全年度と同水準となった。

⑤ 栄養課

ア 入所食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	2,694	2,880	2,758	2,806	2,869	2,766	2,986	2,775	2,782	2,658	2,487	2,769	33,230	36,078	92.1%
胃瘻食昼	603	658	645	662	678	681	711	718	749	788	756	755	8,404	9,077	92.6%
胃瘻食夕	291	323	305	315	337	300	308	325	324	343	323	159	3,653	3,753	97.3%
経管栄養食	9,915	10,403	9,889	10,430	10,605	10,102	10,550	10,507	11,070	10,933	9,804	11,090	125,298	130,029	96.4%
泊なし短期	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	6	9	66.7%
嚥下外来食	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	3	100.0%

イ 特別治療食数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
加算食	495	527	496	445	217	210	217	191	121	124	112	124	3,279	6,232	52.6%

ウ 栄養指導実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来加算	0	3	2	2	1	1	1	2	1	4	0	0	17	15	113.3%
外来非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院時加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院時非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

エ 栄養サポートチーム (NST)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新介入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
介入中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0.0%
回診数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
介入終了	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%

オ 通所食数の実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	55	44	56	56	49	43	51	50	46	43	41	46	580	650	89.2%
胃瘻食	180	170	159	176	152	160	160	155	152	121	116	146	1,847	1,842	100.3%
合計	235	214	215	232	201	203	211	205	198	164	157	192	2,427	2,492	97.4%

カ 放課後等デイサービス食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
昼食(経口食)	24	0	4	24	64	0	0	3	11	9	0	54	193	174	110.9%
昼食(胃瘻食)	7	0	1	12	13	0	0	0	2	0	0	5	40	58	69.0%
間食	82	87	78	84	77	78	81	67	58	69	78	82	921	973	94.7%

給食数は前年度より下回り、特に3月は夕の胃ろう食を段階的に中止したため減数した。また、特別加算食の対象者の状態見直しを行ったことで2024年8月より3名から1名になったため、減数した。通所での給食7割以上の利用者は胃ろう食注入していることが分かる。放課後等デイサービスの給食数(経口食+胃ろう食)は、前年とほぼ同じであった。

(3) 居住支援部門

① 長期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟(29名)	840	872	870	898	895	834	824	826	837	839	784	868	10,187	10,538	96.7%
B棟(30名)	873	873	840	868	862	838	897	869	905	898	821	930	10,474	10,959	95.6%
C棟(36名)	994	1,022	989	1,022	1,025	1,025	1,088	1,067	1,108	1,108	1,003	1,103	12,554	12,709	98.8%
合計(95名)	2,707	2,767	2,699	2,788	2,782	2,697	2,809	2,762	2,850	2,845	2,608	2,901	33,215	34,206	97.1%
占床率(%)	95.0%	94.0%	94.7%	94.7%	94.5%	93.6%	95.4%	96.9%	96.8%	96.6%	98.0%	98.5%	95.7%	98.4%	97.3%

前年度後期に3名の長期入所者が逝去され、新長期入所者を受け入れるための入所希望者名簿を作成。入所調整会議を2024年2月に実施し、年度を越えた2024年度5月から受け入れた。しかし、2024年度も長期入所者が7名亡くなられ、前回作成した名簿が有効期限内のため、名簿から選考し順次受け入れたが、11月以降に空いた長期2枠を、緊急性を要する短期入所者用にミドル的に活用した。

新長期入所者の受け入れとして、名簿作成から受け入れまでに4か月以上かかることについては、市内3施設同じ課題であり、横浜市へ共同要望を行い、検討会が実施された。長期入所者の生活については、コロナ禍前に近い活動を目指し、感染対策を講じつつ外出活動を積極的に再開した。また、季節行事は家族参加を呼びかけ、多目的ホールにて開催をした。センター行事である「ほのぼの祭」は、地域へも解放し利用者と地域との交流を図った。今後は、長期入所者の平均年齢や医療度が高くなることで、活動の内容も含め、より個別性の高い活動に代わっていくと予測する。

② 日中活動

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数(回)	44	48	53	42	40	40	45	41	44	49	48	46	540	597	90.5%
参加人数(人)	178	183	294	169	161	152	177	199	180	184	193	170	2,240	2,364	94.8%

【活動内容】くるみボタン、創作、散歩、ボウリング、ボッチャ、スノーズレン、Wii、シアター、音遊び、園芸、たっち交流



グループおしゃれ



グループ音遊び

(4) 在宅支援部門

① 短期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟(1名)	30	31	30	31	31	30	31	48	52	62	56	62	494	399	123.8%
B棟(0名)	0	25	21	25	24	0	30	23	20	0	0	0	168	0	
C棟(8名)	134	149	141	173	168	140	145	119	142	131	117	125	1,684	2,256	74.6%
合計(9名)	164	205	192	229	223	170	206	190	214	193	173	187	2,346	2,655	88.4%
占床率(%)	60.7%	73.5%	71.1%	82.1%	79.9%	63.0%	73.8%	70.4%	76.7%	69.2%	68.7%	67.0%	71.3%	80.6%	88.5%
申し込み件数	52	47	55	55	50	49	64	60	60	41	43	41	617	752	82.0%
利用不可件数	28	19	26	23	22	26	31	28	29	15	20	25	292	299	97.7%

2024年度の短期ベッドは、4月から看護師の人員不足によりC棟で4床のみの稼働であった。その内2床は、療育困難な利用者に中長期的に利用していた。2023年度から長期者の逝去が続き、AB棟では新長期者が入所されるまでの間、長期ベッドをスポット的に短期入所で利用した。9月からは、中長期的に入所されてた方が長期入所へ切り替わり、AB棟の長期ベッドも新長期者が入所されたため、短期ベッドはC棟での4床稼働のみとなった。その後も、長期利用者の逝去が続き、新長期者が入所されるまでの間、短期入所用として利用した。短期入所者の活動については、日中活動室が中心となって行った。

② 入院利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C棟(1名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
占床率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.0%	0.0%	

③ 生活介護(通所)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
在籍者数	39	39	39	39	39	35	35	35	34	34	32	32	432	439	98.4%
通所日数	21	21	20	22	21	20	21	20	20	19	18	20	243	241	100.8%
通所者数	335	312	312	330	269	295	314	292	286	247	236	268	3,496	3,500	99.9%
電話支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	
欠席者数	50	86	64	83	130	56	49	50	50	53	41	38	750	843	89.0%
1日平均	16.0	14.9	15.6	15.0	12.8	14.8	15.0	14.6	14.3	13.0	13.1	13.4	14.4	14.6	98.5%

4月に新規利用者が3名あった。退籍については、引越しが1名、療養介護への移行が1名、逝去が5名いた。2024度は4名の方が気管切開術を施行し、延べ28名の方が入院された。感染症罹患や状態変化から医療度が高くなっている。呼吸管理が難しい方も多く、入院が多くなっている。気管切開者や医療度が上がることで、送迎車の看護師添乗便が増え、途中から看護師便対応となった方への対応ができない状況となっている。高等部3年生の進路実習も訪問籍で医療度が高い方の希望が多い。横浜市健康福祉局、衆議院議員会館で衆議院議員と厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課課長補佐の方々へ医療度の高い生活介護事業所の現状と課題を伝え、要望を出した。

コロナが5類に移行されたことで、少しずつ外出活動を増やし、新しい活動もチャレンジした。訪問籍だった方の通所2年目でのディズニーオンアイスへの外出活動や、COCO クラフト展への石けん出品・交流、利用者主体の園芸活動の拡大、クリスマス当日のお楽しみ会などを実施した。利用者の意思決定や、利用者へのスタッフの思いが形となり実施できたことで、今後の活動についても前向きな考えに繋がったと思われる。



グループ音楽活動



創作活動



石けん作り活動



特別プラン アニタッチ桜木町

④ 訪問看護ステーションえーる

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数(件)	182	182	155	197	172	171	187	168	159	145	139	161	2,018	2,335	86.4%
1日平均	8.7	8.7	7.8	9.0	8.2	9.0	8.5	8.4	8.0	7.6	7.7	8.1	8.3	9.6	86.2%
リハ同行数	7	7	6	7	7	9	10	9	9	6	7	7	91	115	79.1%

2024年度は、契約者数45名、訪問件数160件/月を看護スタッフ3名体制でスタートした。

6月に16日/月勤務の看護師が1名補充されたが、定数5名のため欠員状態が続き、8月から訪問件数を120件/月、利用者定数を45名から39名に削減する一方で、3割増しの訪問件数を確保できた。しかし、在宅利用者の特徴として、医療デバイスが多いことや、年々重度化している傾向があり、臨時訪問件数も増加傾向にあった。このため業務改善策として、①訪問看護ソフトアプリを利用した記録の取り組み、②看護計画にNANDA-Iを取り入れることで記録時間の短縮を行う、③記録物を画像にしてラインワークスで共有することで看護のタイムラグを防ぐ取り組みを行ったが、看護の質を保ちながらスタッフの負担を減らすことは困難が伴った。利用者の重度化に伴いリハビリの依頼も多くなる傾向がみられた。煩雑な業務のなか、スタッフを小児の医療的ケア支援看護師研修に行かせることで、新しい知見を得ることができ、利用者へ還元することができた。

⑤ 居宅介護課（まいはーと）

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数	411	446	413	444	432	467	508	480	503	438	422	452	5,416	4,586	118.1%
1日平均	19.6	21.2	18.8	20.2	20.6	24.6	23.1	24.0	25.2	23.1	23.4	22.6	22.2	18.9	117.3%

限られた職員のなか、登録ヘルパー、常勤スタッフが一丸となって1件1件大切に訪問した。人員で見れば前年度より減少したが、実績は前年比118%で、関係スタッフ全員の気持ちが積み重なった結果となった。

⑥ 放課後等デイサービスはみんぐ

（名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	88	92	84	90	82	81	87	74	60	75	77	89	979	1,085	90.2%
1日平均	4.2	4.4	4.2	4.1	3.9	4.3	4.7	4.5	4.3	4.4	3.6	4.2	4.2	4.5	94.2%

2023年度は「コロナ電話対応」の措置があり、休んでも電話対応を行うと出席扱いにできたため、2024年度の実績が本来の出席状況を反映した数字である。欠席理由としては、利用者の体調不良によるものが多く、手術等1ヶ月単位で欠席する利用者もいたが、振替などで対応した。

⑦ 送迎事業

（名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
登校(累計)	16	21	20	12	5	17	22	19	18	17	16	12	195	198	98%
下校(累計)	13	19	16	9	4	14	17	11	14	13	11	9	150	183	82%
登校日数	16	21	20	14	5	17	22	20	18	17	18	16	204	201	101%

⑧ 医療福祉相談室

相談業務

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話・メール	400	385	371	396	321	358	419	362	469	280	256	298	4,315	4,216	102.3%
来所	128	127	172	154	190	160	154	176	215	167	108	145	1,896	1,104	171.7%
訪問等	106	103	100	93	102	85	89	103	90	115	92	74	1,152	1,252	92.0%
合計	634	615	643	643	613	603	662	641	774	562	456	517	7,363	6,572	112.0%

2023年度に比べ相談件数が800件増加した。下半期の相談件数は月によりばらつきはあるが、平均して600件を越える相談があった。近隣の小児科や地域療育センターとの連携がスムーズに行われるようになり、相談件数の増加にも影響していると思われる。引き続き児童精神科の初診には相談員が同席、小児科・内科・リハビリのケースにおいてもセンター内関係スタッフや関係機関との連携、本人・家族支援に努めている。

短期入所調整業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	52	47	55	55	50	49	64	60	60	41	43	41	617	752	82.0%
利用件数	23	26	27	44	40	44	52	47	46	33	36	34	452	387	116.8%
利用不可※1	28	19	26	23	22	26	31	28	29	15	20	25	292	299	97.7%
キャンセル※2	1	2	2	3	2	1	4	4	2	2	2	0	25	39	64.1%

※1 満床等の理由により入所対応ができなかった件数

※2 利用者からのキャンセル数

人員不足により短期ベッドが稼働できない状況が続いており、申し込み者を調整することに苦慮した。断りの説明・謝罪、クレーム対応を丁寧に行い、理解に繋がられるよう努めた。特に2025年4月から短期入所の運営が一時休止することについてのクレームは真摯に対応し、他機関利用に繋ぐため地域連携を強化している。新規利用の希望はあるが、実質5年間新規受付を休止した状態となっていることも課題である。報酬改定に伴い、5月より医療型短期入所受入前支援加算の算定に努めた。

計画相談業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
総契約数	127	127	127	126	127	126	124	124	122	121	119	119	1489	1491	99.9%
立案数	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	7	85.7%
モニタリング数	13	14	9	17	13	10	9	11	11	51	8	14	180	132	136.4%
合計	16	16	9	17	14	10	9	11	11	51	8	14	186	218	85.3%

2024年度は、逝去や他施設への長期入所決定による事業所移行があり、10名が契約終了となった。毎月の会議では積極的に加算対象の業務について確認し意識改革に努めた。毎年1月は長期入所者のモニタリングや更新が集中し、相談員の業務負担が顕著である。新規契約については、相談員の欠員はあるが、相談室業務全体の状況により再開していけるよう努める。

(5) 安全管理部門

① 医療安全

インシデント・アクシデント件数

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
レ ベ ル	0	17	17	14	14	23	14	18	13	8	3	5	7	153	90	170.0%
	1	20	25	25	28	37	25	31	41	25	15	13	25	310	257	120.6%
	2	15	17	3	11	12	13	12	14	9	10	5	7	128	151	84.8%
	3-a	3	1	1	3	1	4	4	5	2	1	4	4	33	37	89.2%
	3-b	0	0	1	0	0	1	1	0	1	2	0	1	7	4	175.0%
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

・インシデント総数は631件。レベル0は前年比170%。レベル1は120.6%。年間インシデント指数は昨年度の1.27から1.09に減少し、より軽微なあるいは未然に防ぐことができた0～1レベルの報告が相対的に年々増えている。3bは7件で、内4件は骨折であった。

・訪問事業（えーる・まいはーと）から複数の報告があり、投薬や入浴時など在宅での対応困難さを把握できた。事故報告体制や具体的な対応への介入を行ったが、引き続き検討が必要である。

- ・事故発生要因では、「確認を怠った」が 389 件 61.6%と最多であった。ヒューマンエラーの減少は困難で、引き続きシステムの変更を含めた具体的な戦略が必要である。
- ・院内ラウンドでインシデントの対策実施状況を確認したが、時間の経過とともに実施しなくなる傾向があり、継続的なラウンドが必要である。
- ・医療安全推進週間では、「挨拶」「声掛け運動」を実施した。取り組み満足度では、「心理的安全性が高い風土である」が 95%以上であった。反面、「反対意見を誠実に受け止め、新しいアイデアを受け入れられる環境でない」という意見もあり今後につなげたい。
- ・BCP については、引き続き安全管理の視点で参加し、トリアージを含む訓練の実施やガイドライン第 2 版(案)の作成に協力した。
- ・2024 年医療安全全国共同行動に加入した。安全な医療を推進するための実践的なノウハウを学び当センターへの対策に役立てている。

② 感染予防対策

新型コロナウイルスワクチン接種件数 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
接種件数	0	0	0	0	0	0	18	106	22	4	1	0	151	1,028	14.7%

・新型コロナウイルスワクチン接種について、2024 年度は、利用者と利用者家族、職員と職員家族を対象としてワクチン接種を実施する。長期入所者の接種は 86 名 (91%) であったが、職員においては 14 名と接種者数が減少した。2024 年 4 月から国内でのワクチン無料化が廃止となり、秋から 65 歳以上は自治体からの公費負担が 10 月～2 月に期間限定で行われたが、それ以外は自費での接種となり、費用面の負担も前年度より減少となる一因になったと考えられる。

・新型コロナウイルス感染者数について、2024 年度の感染者数は、長期入所者が 4 名 (4 月 A 棟 2 名、7 月 C 棟 2 名)、職員 (自己検査含む報告者数) が 60 名であった。入所者 1 名においては、主病の進行によりコロナ罹患中にご逝去となる。他 3 名の入所者は、発症後 11 日～13 日目でコロナ抗原検査陰性と回復を確認し、感染対策を解除とした。

・2024 年度の感染対策について、日常でのセンター全体の感染対策については、面会日数を毎日へ増やす、通所活動範囲を広げていくなど、コロナ禍で取り決めた感染対策の見直しを図った。国内のコロナの株は変異を続けており、今後も流行を繰り返す事が予測される。利用者においては罹患すると 2 次合併症を併発しやすく注意していく必要があるが、外出・外泊や日中活動への支援が継続できるよう、感染対策について感染管理委員会を通して検討する。

・2024 年度は、感染対策部会で各棟の手指衛生サーベイランスを初めて取り入れ、量的評価を実施した。サーベイランス結果では、職員間での使用量に差が見られるなどの課題が残された。手指衛生対策は薬剤耐性菌対策にも重要であり、引き続き取り組みを行っていく。

(6) 管理部門

① 職員採用状況 (非常勤含む)

職種	医師	歯科医師	看護師	生活支援員	管理栄養士	薬剤師	理学療法士	作業療法士	臨床心理士	福祉相談員	保育士	事務員	看護助手	運転員	登録ヘルパー	事務クラーク	薬剤課事務員	洗濯員	調理員
採用者	6	2	14	11	1	1	1	1	0	0	3	2	2	2	2	0	0	0	3
退職者	4	1	14	9	1	3	0	0	0	1	3	0	0	4	0	1	0	1	3

② 事業継続計画（BCP）の取組状況

BCP 訓練を 9 月と 2 月に実施し、発災からの初動対応に加え、トリアージ訓練と福祉避難所開設訓練を行ったところ、トリアージ場所の問題や福祉避難所開設での問題点が多く見つかった。福祉避難所について、受け入れる避難者や支給部品は、旭区と協議する必要性を実感し、今後、定期的に話し合いの場を設けたい。その他、被災地で取り上げられる問題の一つにトイレ問題があり、災害用非常トイレの備蓄やポータブルトイレの設置場所等を検討することで、災害時に対応できるよう、BCP 委員会で協議を継続する。



災害対策本部 情報収集



災害用非常トイレの設置



トリアージ



③ 保育室ひかり

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	241	239	247	240	235	243	293	278	279	266	215	284	3,060	2,873	106.5%
1日平均	9.6	10.0	9.9	9.2	9.0	10.6	11.3	11.1	11.6	11.6	9.8	11.4	10.4	9.9	105.2%

保育士の常勤を 2 名加え、保育体制の強化により 1 日平均の利用児数は前年度と比較し 0.5 名/日と増加した。2 月に急性胃腸炎のまん延により旭区の保健指導で一時利用児数が減少したが、センターの感染対策指導等により早期に運営を回復することができた。また、栄養士の年度途中の退職で食事提供に不安が懸念される時期があったが、センターの管理栄養士の応援等で、滞ることなく適切に提供することができた。

④ 病児保育室あさひ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	42	58	38	52	41	45	51	50	54	45	30	55	561	572	98.1%
1日平均	2.0	2.8	1.9	2.4	2.0	2.4	2.3	2.5	2.7	2.4	1.7	2.8	2.3	2.4	97.7%

延べ利用人数は、昨年度とほぼ変わらない。5 月は急性上気道炎、12 月はインフルエンザ A 型、3 月は胃腸炎が流行し、利用人数が増えている。新型コロナウイルスが 5 類に移行したことで、入室前の抗原検査の有無はかかりつけ医の判断に任されている。病児保育室内での二次感染を防止するために、病名、症状を確認し、預かりを慎重に判断している。

Ⅳ 地域療育センターあおば

診療部門について、診療件数は増加がみられるが、重心児をはじめとするリハビリテーションの新患が減少したことや職員体制から、訓練件数が減少し目標値を下回った。利用ニーズに応えていけるよう、他職種との連携を深め、アウトリーチ、地域ニーズなど適切なタイミングでサービス提供できる仕組みを強化していく。

児童発達支援、児童発達支援事業所について、感染症や所属集団の行事参加などで欠席はあったが、前年度を上回る出席率となった。

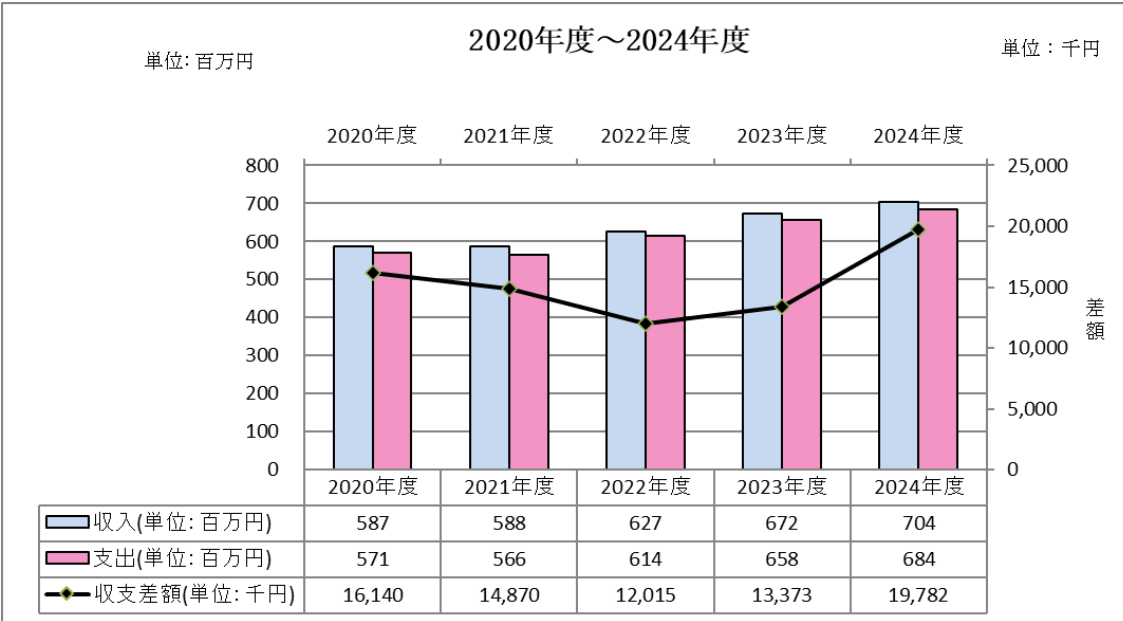
相談部門の障害児相談支援事業について、外来利用児の計画相談をセルフプランに移行したこと、保育所等訪問支援は保護者のニーズによる申請のため、目標値を下回った。事業として具体的な課題を把握し、関係機関と調整を行うことでより良い支援と繋げていく。また、待機期間が長期化するなかで、はじめて電話後、相談ニーズが高い時期にお待たせすることなく利用できる一次支援事業を分室として開設した。親子で利用できるひろば事業や個別心理相談、ケアプラザでの相談事業を展開し参加人数は徐々に増加傾向である。利用状況や周知活動の強化、必要に応じた支援を提供できる安定的な運用を目指す。

各部署の実績は次のとおりである。

1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
外来診療	40.6 名／日	36 名／日	88.7%
児童発達支援	48 名／日	49.3 名／日	102.7%
児童発達支援事業	9.6 名／日	10.1 名／日	105.2%
障害児相談支援事業	180 名	164 名	91.1%
保育所等訪問支援	80 名	72 名	90.0%

2 資金収支差額の推移



令和6年度の報酬改定により処遇改善・加算等の見直しがあり、障害児福祉サービス収入が前年度比5%の増加となった。また通園課、こども支援室とも安定した出席率であったことで、収支差額が前年度比約47%の増加となった。

3 各部署の報告

(1) 診療課

① 医師診察

併設している診療所では、0歳から小学校卒業までの児童に対する診療を行っており、その主たる業務は、支援に必要な診断を見立てることである。年々、未就学児の利用希望は増加しており、昨年比114.5%の増加であった。一方、学齢児の診察実数は昨年比83.8%と減少しており、当センターでは減少傾向にある。

区 分	新規診療	再 診	計
未就学	333	1,769	2,102
学 齢	72	668	740
合 計	405	2,437	2,842

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規診療	リハビリ科	未就学	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	児童精神科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	69	1.4%
		学齢	5	6	5	6	6	3	11	9	8	5	5	3	72	101	71.3%
	小児科	未就学	37	31	28	28	22	16	24	17	22	21	16	18	280	207	135.3%
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	耳鼻科	未就学	4	2	6	4	5	4	3	4	5	4	4	4	49	50	98.0%
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	摂食外来	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	補装具外来	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	未就学	41	33	36	32	27	20	27	22	27	26	20	22	333	326	102.1%
		学齢	5	6	5	6	6	3	11	9	8	5	5	3	72	102	70.6%
		計	46	39	41	38	33	23	38	31	35	31	25	25	405	428	94.6%
再診療	リハビリ科	未就学	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	5	0	
		学齢	0	2	0	1	1	1	0	1	1	0	2	1	10	2	500.0%
	児童精神科	未就学	0	1	1	2	4	6	0	5	3	1	3	2	28	182	15.4%
		学齢	25	44	34	36	44	35	44	28	38	35	33	34	430	545	78.9%
	小児科	未就学	72	114	139	108	135	190	139	107	122	151	145	110	1,532	1,126	136.1%
		学齢	9	6	7	11	6	5	8	3	4	3	3	1	66	87	75.9%
	耳鼻科	未就学	1	4	6	4	7	2	5	5	7	9	6	2	58	67	86.6%
		学齢	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	133.3%
	摂食外来	未就学	0	9	0	5	0	8	0	10	0	8	0	4	44	34	129.4%
		学齢	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	6	6	100.0%
	補装具外来	未就学	5	5	8	4	3	9	9	14	14	13	10	8	102	101	101.0%
		学齢	16	12	10	12	16	12	7	15	13	10	16	13	152	138	110.1%
	小計	未就学	78	134	154	123	149	216	153	141	147	183	164	127	1,769	1,510	117.2%
		学齢	53	64	52	63	67	53	59	47	56	48	54	52	668	781	85.5%
		計	131	198	206	186	216	269	212	188	203	231	218	179	2,437	2,291	106.4%
総計			177	237	247	224	249	292	250	219	238	262	243	204	2,842	2,719	104.5%

・全体では74.0%が未就学児だが、新患だけで見ると未就学児は82.2%を占めている。
 （前年比101.8%増でほぼ横ばい）。

・摂食外来は、2023年度から昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座の弘中祥司教授を迎えたことで体制が整い、利用者ニーズに合わせて診療件数を伸ばすことができた。

② 訓練等

(件)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
機能訓練	理学療法	未就学	68	69	76	66	71	85	88	96	89	98	101	87	994	1,016	97.8%
		学齢	48	46	44	42	44	41	48	58	47	60	64	49	591	615	96.1%
	作業療法	未就学	80	118	80	108	85	126	122	105	121	126	134	110	1,315	1,450	90.7%
		学齢	23	29	20	33	19	25	22	20	23	27	28	31	300	370	81.1%
	言語療法	未就学	64	87	81	105	66	88	65	87	93	92	83	93	1,004	1,233	81.4%
		学齢	23	18	16	20	22	16	9	20	19	18	16	22	219	228	96.1%
	聴力検査	未就学	10	21	36	40	14	29	10	15	20	10	11	15	231	270	85.6%
		学齢	1	1	3	2	2	1	0	1	1	1	0	2	15	7	214.3%
	合 計	未就学	222	295	273	319	236	328	285	303	323	326	329	305	3,544	3,969	89.3%
		学齢	95	94	83	97	87	83	79	99	90	106	108	104	1,125	1,220	92.2%
		計	317	389	356	416	323	411	364	402	413	432	437	409	4,669	5,189	90.0%
心理指導	心理療法	未就学	50	184	171	134	146	174	185	132	118	158	146	121	1,719	1,646	104.4%
		学齢	27	17	7	11	10	9	5	8	11	8	11	12	136	346	39.3%
	(うち心理検査)	未就学	26	34	41	47	44	38	49	46	32	36	39	23	455	475	95.8%
		学齢	27	16	7	10	10	9	5	8	11	8	11	12	134	171	78.4%
栄養相談	未就学	3	1	2	0	1	1	0	1	1	1	2	2	2	15	29	51.7%
	学齢	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%
補装具クリニック			21	17	18	16	19	21	16	29	27	23	26	21	254	239	106.3%

機能訓練は全体的に減少。理由として以下が挙げられる。

- ・肢体不自由児の新患の減少。
- ・OTは訓練士が3名在籍しているが、2023年度入職の新人育成に時間がかかっており件数が伸ばせなかった（他の二人の訓練件数は増加）。
- ・STは前年度訓練士3名で対応したが、今年度は2名に減少。

心理指導は未就学児への心理療養は微増したが、年度途中で職員の退職があり欠員を生じたことから、全体では前年比92.6%にとどまった。

(2) 通園課

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
設定日数	823	1,208	1,028	1,301	710	1,146	1,088	1,198	1,010	1,022	966	621	12,121	12,675	95.6%
出席日数 (実績)	679	1,020	859	1,067	581	958	917	981	827	877	797	542	10,105	10,040	100.6%
出席率	82.5%	84.4%	83.6%	82.0%	81.8%	83.6%	84.3%	81.9%	81.9%	85.8%	82.5%	87.3%	83.4%	77.6%	107.5%
在籍児数	105	105	105	104	104	105	104	104	104	104	104	104			

2024年度も高頻度の療育が必要と判断される児童が多いなか、共働き世帯の増加により、高頻度利用したくても利用できる頻度は週2が限度という家庭が10世帯以上いる。その状況を踏まえ、福祉型クラスは週5を3、週3を5、週2を7設定した。医療的ケアを必要とする児童や肢体不自由児の利用希望は減少傾向で、設定クラスは1クラスであった。10部屋16クラス設定で、合計104名が利用した。新型コロナウイルスによる児童の欠席は前年度に比べ減少傾向ではあったものの、秋以降にアデノウィルスやインフルエンザが流行し、11～12月は出席率の減少がみられた。2023年度より親子日をクラス単位での同一日参加の体制にし、目的に沿った療育の提供を目指す中で、2024年度は親子日に1日の流れとプログラムの目的を示した用紙と振り返りシートを導入し、より目的を明確にした参観ができるようにした。



(3) こども支援室こだち

① 児童発達支援事業所

(名)

クラス名	登園日数/週	曜日	4歳	5歳	合計	前年度合計	前年度比
かえで①クラス	1日	月		6	6	6	100.0%
かえで②クラス	1日	火		6	6	6	100.0%
かえで③クラス	1日	水		6	6	6	100.0%
かえで④クラス	1日	木		6	6	6	100.0%
かえで⑤クラス	1日	火		6	6	6	100.0%
かえで⑥クラス	1日	水		6	6	6	100.0%
かえで⑦クラス	1日	木	6		6	6	100.0%
かえで⑧クラス	1日	金	7		7	6	116.7%
合 計			13	36	49	48	102.1%

例年どおり、5月より療育を開始した。1クラス6名、8クラス運営で定員は48名であるが、定員を超える申込があったため、1クラスのみ7名クラスとし、総利用人数は49名となった。教室の広さとしては、7名による狭小さは感じられたが、机の並べ方などの工夫により、けが等なく運営することができた。保護者への支援としては、年長児の保護者への就学支援や日々の懇談の他、先輩保護者にご講演いただく機会を今年度も設定し、聴講した保護者からは非常に好評を得ることができた。一方で、7名クラスでは、モニターの画面に7名を映しきることが難しい場面もあり、本来の定員を超えての受け入れのデメリットも確認された。

② 児童発達支援事業所出席率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
設定日数	92	193	167	213	122	168	173	208	147	172	184	113	1,952	1,662	117.4%
出席日数(実績)	87	167	139	178	101	136	136	172	109	144	157	98	1,624	1,389	116.9%
出席率	94.6%	86.5%	83.2%	83.6%	82.8%	81.0%	78.6%	82.7%	74.1%	83.7%	85.3%	86.7%	83.2%	83.6%	99.5%
在席児数	48	48	48	48	48	48	49	49	49	49	49	49			

これまで年間35日前後かつクラスによっても差が見られた療育日数を見直し、どのクラスにも年間41日の療育日数を確保できるように改善したため、出席日数は前年度比を大きく上回った。出席率については、私用による途中退園や感染症の流行により変動が見られたが、概ね前年度同様の出席率となった。

③ 外来グループ

〔たんぽぽの通園児童数〕

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	11	44	34	0	36	72	24	0	10	58	48	0	337	236	142.8%

〔くろーばーの通園児童数〕

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	0	2	5	8	8	6	6	9	11	6	7	6	74		

1回～2回/週 14:30～15:45

昨年度実施なし

〔肢体不自由児を対象としたいちごグループの通園児童数〕

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	0	5	5	6	3	4	6	4	3	4	4	0	44	43	102.3%

1回／月(5月～2月) 9:30～10:40

〔肢体不自由児を対象としたぱたぱたグループの通園児童数〕

(名)

	4月	6	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	0	6	5	5	4	4	5	6	5	3	5	0	48		

1回／月(5月～2月) 9:30～10:30

たんぽぽグループ(知的発達系)は、前年度よりも週1日稼働日を増やし、年2クール(4-6月、9-10月、12-3月)、週3日、1クールあたり5～6名で実施した。それにより、延べ利用児数は増加しており、集団療育の機会としての利用ニーズは依然として高い。

肢体不自由系のグループは、運動発達の状態によって2グループに分け、従来のいちごグループに加えて、ぱたぱたグループを創設し、月2回(5～2月の年10回)実施した。そのため、肢体不自由系のグループ利用の延べ利用児数は、前年度に比べて倍増しており、一定の利用ニーズが確認された。

また、中待機対策の申込制ひろばとして「くろーばー」を創設し、月2～4回開催した。開催当所はインフォメーションの行き届かなさや、月による開催回数の増減により利用人数には変動が見られるが、当センターに繋がって間もない家庭や、継続的な小集団療育の利用が難しい家庭への支援を行えた。

(4) 相談課

① 相談業務

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	278	298	371	414	275	418	529	522	330	373	223	228	4,259	4,218	101.0%
	学齢	39	46	40	47	22	30	28	33	30	29	16	23	383	536	71.5%
面接	未就学	34	38	28	36	29	44	47	37	28	43	35	69	468	625	74.9%
	学齢	12	17	15	16	19	15	19	3	14	19	13	14	176	196	89.8%
文書	未就学	78	2	2	2	1	3	0	1	1	1	1	0	92	144	63.9%
	学齢	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	6	66.7%
合計	未就学	390	338	401	452	305	465	576	560	359	417	259	297	4,819	4,987	96.6%
	学齢	51	65	55	63	41	45	47	36	45	49	29	37	563	738	76.3%

未就学児の電話相談件数はほぼ前年並みだが、その他は平均7割程度に減少している。理由として、年度当初、ソーシャルワーカーが1名減でスタートし、1月から2名減での相談業務となったため、ソーシャルワーカー側から随時働きかけるアウトリーチ対応等が、昨年度と比較して減少していることが考えられる。

② 関係機関調整

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	258	279	343	372	260	388	505	482	288	334	199	203	3,911	1,523	256.8%
	学齢	32	40	29	32	17	24	19	26	23	21	12	19	294	262	112.2%
来所 /出張	未就学	21	18	15	17	12	24	26	15	8	21	15	45	237	736	32.2%
	学齢	11	12	7	9	10	8	9	2	5	12	8	8	101	59	171.2%
文書	未就学	78	2	2	2	1	3	0	1	1	1	1	0	92	163	56.4%
	学齢	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	14	28.6%
合計	未就学	357	299	360	391	273	415	531	498	297	356	215	248	4,240	2,422	175.1%
	学齢	43	54	36	41	27	32	28	28	29	34	20	27	399	335	119.1%
	総計	400	353	396	432	300	447	559	526	326	390	235	275	4,639	2,757	168.3%

関係機関調整では、関係機関間の調整課題のある複雑なケース等、機関連携が必要なケースが増えていることから、総計は4,639件、168.3%と件数が大きく伸びている。対応方法について、未就学児の電話対応が前年比256.8%、学齢児が112.2%と大きく伸びている一方、文書対応や未就学児の来所/出張は大きく減らしており、ソーシャルワーカーの欠員状況の中、必要時の対応方法として電話対応の比率が多くなっている。

③ 巡回相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育園	0	8	12	12	10	4	3	5	0	5	0	0	59	67	88.1%
幼稚園	0	4	1	5	0	5	2	0	0	2	2	0	21	17	123.5%
合計	0	12	13	17	10	9	5	5	0	7	2	0	80	84	95.2%

全体の件数は、2024年度が80件、2023年度が84件、2022年度が79件であり、例年80件程度で推移している。比率としては、保育園が59件(73.8%)、幼稚園が21件(26.2%)と保育園の方が多く、前年度と比較すると幼稚園の比率がやや増えている。

④ 障害児相談支援事業（利用計画書作成件数）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
計画作成	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	161	164	225	72.9%
継続計画作成 (モニタリング)	0	4	14	2	17	26	6	53	8	4	5	6	145	188	77.1%
合 計	0	4	14	3	18	27	6	53	8	4	5	167	309	413	74.8%

計画作成は2023年度から、当センターの通園、こだちを利用する児童を対象に契約・作成している。当センターが以前契約・計画作成していた訪問支援事業利用等の外来児については年度継続以外の新規契約を行っていないため、徐々に計画作成数が減り、2024年度の計画作成数160件前後となった。継続計画作成数(モニタリング数)も、計画作成数の減に伴う減となっている。

※3月の161件は、2025年度利用児の計画相談作成分(内訳:通園106,こだち48,年度継続の外来児7)

⑤ 保育所等訪問支援事業

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育所等訪問支援事業	3	4	5	2	2	15	8	8	11	7	5	2	72	84	85.7%

保育所等訪問支援事業は、2024年度72名、前年度84名、前々年度64名実施しており、年度毎の申請数やニーズ等によって実施数に幅が見られる。今年度、国のガイドラインに沿って初めて実施した「自己評価アンケート」では、保護者、訪問先とも高い評価をいただいております、引き続き丁寧で質の高い支援の提供を続けていく。

⑥ 学校支援事業

	上期	下期	合計
実支援学校数	20 校	5 校	25 校
延べ訪問件数	21 件	5 件	26 件
内コンサルテーション	19 件	5 件	24 件
研修	2 件	0 件	2 件

学校支援事業は、依頼を受けた青葉区内の小学校にソーシャルワーカー、心理士等が直接訪問し、コンサルテーション(児童が教室にいる状況での授業参観と振り返り等の情報共有・アドバイス)や教員向けの研修会を実施するものであり、学校側からの依頼、ニーズはほとんどコンサルテーションとなっている。コンサルテーションの実施時期は上期が 21 件、下期が 5 件であり新学年のクラス編成後の比較的早い時期の訪問支援ニーズが高い。

⑦ 地域ニーズ対応事業

ア 保護者のためのこころのケア相談

保護者支援	面接	5 件
	電話	2 件
	導入検討	3 件
	事前カンファ	2 件
	事後カンファ	5 件
S W パ イ ズ 支 援	ケース相談	6 件
	経過報告	7 件
	SW面接への同席	0 件
	その他(メール等)	0 件

こころのケア相談では、事業の委託をしている精神保健福祉士(大学教授)による、支援を要する保護者への直接支援と、ケース支援を行うソーシャルワーカーへのスーパーバイズ支援の 2 つの内容を実施した。保護者支援では、精神保健福祉士による直接支援である面接を 5 件、電話による相談支援を 2 件実施したほか、支援の導入に向けたケース担当者との導入検討や事前カンファ、事後カンファ等を行っている。

ソーシャルワーカーへのスーパーバイズ支援では、障害児を抱えている保護者の不安やこころの揺れ、メンタルヘルスに配慮が必要なケースの相談や経過報告においてアドバイス等を受け、保護者支援の質の向上を図っている。

イ あおばであそぼ(ひろば事業)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延べ利用児数	4	2	3	6	2	2	1	0	2	4	6	0	32	32	100.0%

あおばであそぼ(ひろば事業)は「子育て支援や療育センターそのものへの理解を深めていただくため、施設を開放し、遊び場を提供することで育児の不安や発達への心配感に寄り添うこと」を目的としている。青葉区福祉保健センターの発達相談で同事業の案内、紹介を経て参加された方が全体の 3/4 を占めている。参加家族のニーズ等に合わせ、月 1 回、土曜日の午前中に実施し、延べ利用児数は前年度と同数の 32 名が利用した。

⑧ その他 独自事業

ア はろお！（一次支援事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
開催回数	14	39	36	42	41	33	45	38	39	38	27	36	428	176	243.2%
延べ利用児数	21	46	48	33	49	56	67	63	72	78	72	80	685	382	179.3%

前年度までセンターあおば内で実施していた事業を、2024年4月に青葉台に開設した常設事業所「はろお！」として、1日2グループを週5日、安定的に実施することとなり、開催回数が前年度の243.2%、利用児数が前年度の179.3%と大幅に増加している。開催回数の増(243.2%)に比べると延べ利用児数の増(179.3%)がやや低く、新事業所の周知や提供するサービスの充実を更に図りながら、1回あたりの利用児数等を伸ばしていく。

イ みんなであそぼ(地域支援事業)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延べ利用児数	2	4	3	6	8	3	5	4	6	9	9	8	67	87	77.0%

2024年度外部に設置した、一次支援事業所「はろお！」の保育士・ソーシャルワーカー・OT等が月に各1回、すすき野地域ケアプラザ、奈良地域ケアプラザへ出向いて遊びの場を共有しながら、成長・発達が気になる乳幼児の様子を伺い、保護者からの相談も受ける事業を実施している。延べ利用児数は、今年度67名、前年度87名、前々年度47名と変動があるが、地域に出向いて支援していくアウトリーチ事業として、引き続き実施していく。



(5) 公開講座

あおば講座Ⅰ

	公開日	テーマ	講師	申込人数	参加人数
第1回	6月27日	発達障害を知ろう こだわりや集団参加の苦手への支援 前編	医師 吉田友子先生	14	10
第2回	9月20日	発達障害を知ろう こだわりや集団参加の苦手への支援 後編	元横浜市特別支援教育総合センター 作業能力検査相談員 阪井 紀雄先生□	16	14
第3回	10月23日	中学以降の過ごしを知ろう 将来の見通しのために	元横浜市特別支援教育総合センター 作業能力検査相談員 阪井 紀雄先生□	17	8
第4回	1月11日	就学に向けて①	地域療育センター 心理士平木・梁島	17	9
第5回	1月9日	就学について② 先生方との連携・家庭で気を配りたいこと	地域療育センターあおば 心理士井手上・今田	22	9
第6回	2月6日	しゃべり始めた子とのコミュニケーションを楽しむために	地域療育センターあおば 言語聴覚士 入江	7	5

あおば講座Ⅱ（公開日～年度末までの動画配信講座） ＊センターあおば利用の保護者が対象

	公開日	テーマ	講師	申込人数	視聴回数
第1回	7月27日	発達障害を知ろう こだわりや集団参加の苦手への支援 前編	医師 吉田友子先生	44	139
第2回	10月20日	発達障害を知ろう こだわりや集団参加の苦手への支援 後編	元横浜市特別支援教育総合センター 作業能力検査相談員 阪井 紀雄先生□	55	91
第3回	11月23日	中学以降の過ごしを知ろう 将来の見通しのために	元横浜市特別支援教育総合センター 作業能力検査相談員 阪井 紀雄先生□	52	62
第4回	2月11日	就学に向けて①	地域療育センター 心理士 平木・梁島	49	65
第5回	2月9日	就学について② 先生方との連携・家庭で気を配りたいこと	地域療育センターあおば 心理士井手上・今田	0	69
第6回	3月6日	しゃべり始めた子とのコミュニケーションを楽しむために	地域療育センターあおば 言語聴覚士 入江	35	37

あおば講座については予定通り上記テーマで年6回実施した。実施した内容を動画にして、インターネット上に一定期間公開することでより多くの対象者に視聴いただく形をとっており、時間と場所の制限が少ない、ビデオ視聴参加の方が主となっている。

(6) 管理課

職員採用状況（非常勤職員は除く。）

職種	医師	看護師	理学療法士	作業療法士	臨床心理士	言語聴覚士	保育士	児童指導員	福祉相談員	事務員	合計
採用者	3	0	0	1	1	1	8	3	1	0	18
退職者	3	0	1	0	1	3	3	1	1	1	14

職種によっては応募者数が少ないこともあり補充できない状況があった。

V たっちほどがや

長期入所について、利用者の高齢化・重度化が進んでおり、職員が必要不可欠であるが慢性的な職員不足のため、勤務時間の延長や変則的な勤務を行って対応している。前年度に比べると、外出や買い物等は増やすことができているが、まだコロナ禍前のような状況には戻っていない。その分、日中活動として、利用者ひとり一人に合わせた活動展開を行っており、利用者の満足感も出ている。

通所について、日々の利用者数も安定した状況であり、利用者が楽しめるような外出やイベントを行うことができている。

短期入所について、できる限り定員に近づけるような受け入れを行った。他事業所が休止している影響か、新規申し込みも増えている状況である。

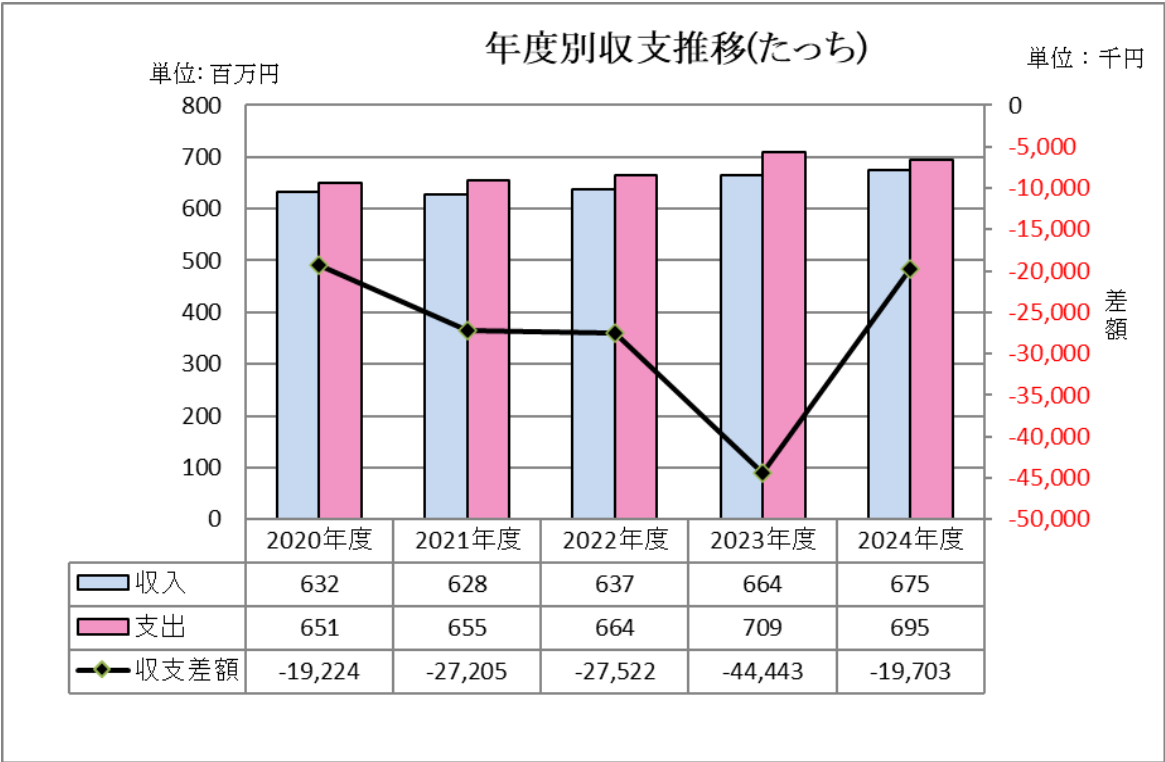
いずみの課の通所について、利用者数が定員を越える日も出ている状況である。放デイについては、利用者の体調不良の影響もあり、出欠席状況は安定していないが予測していた数値は確保できている。

たっち全体的に職員が欠員状況のなか、人員確保が厳しい年度となった。

1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	41.2 名/日	41.6 名/日	101.0%
短期入所	7.8 名/日	6.9 名/日	88.5%
生活介護（通所）	20.2 名/日	19.5 名/日	96.5%
たっちいずみの生活介護（通所）	19.6 名/日	16.2 名/日	82.7%
たっちいずみの放課後等デイサービス	3.9 名/日	3.9 名/日	100.0%

2 資金収支差額の推移



【収入】報酬改定による新加算取得及び利用延べ数の増加により前年比で+11 百万円増。

【支出】きらぼし銀行への借入返済が終了し、昨年増大していた固定資産の取得と修繕費用が減少したため、前年比で△14 百万円減。

3 施設全体の実績

(1) 入所支援課

入所支援・短期入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期入所 42枠	定数	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	504	504	100.0%
	実績数	1,225	1,285	1,256	1,296	1,301	1,237	1,297	1,234	1,302	1,301	1,176	1,277	15,187	15,043	101.0%
	1日平均	40.8	41.5	41.9	41.8	42.0	41.2	41.8	41.1	42.0	42.0	42.0	41.2	41.6	41.1	101.2%
	占床率	97.2%	98.7%	99.7%	99.5%	99.9%	98.2%	99.6%	97.9%	100.0%	99.9%	100.0%	98.1%	99.1%	97.9%	101.2%
短期入所 8枠	実績数	229	243	226	219	216	154	235	228	230	195	212	146	2,533	2,549	99.4%
	1日平均	7.6	7.8	7.5	7.1	7.0	5.1	7.6	7.6	7.4	6.3	7.6	4.7	6.9	7.0	99.2%
	占床率	95.4%	98.0%	94.2%	88.3%	87.1%	64.2%	94.8%	95.0%	92.7%	78.6%	94.6%	58.9%	86.8%	87.1%	99.7%
合計 50枠	定数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	600	100.0%
	実績数	1,454	1,528	1,482	1,515	1,517	1,391	1,532	1,462	1,532	1,496	1,388	1,423	17,720	17,592	100.7%
	1日平均	48.5	49.3	49.4	48.9	48.9	46.4	49.4	48.7	49.4	48.3	49.6	45.9	48.6	48.1	100.9%
	占床率	96.9%	98.6%	98.8%	97.7%	97.9%	92.7%	98.8%	97.5%	98.8%	96.5%	99.1%	91.8%	97.1%	96.1%	101.0%

(2) 計画相談業務

() 内は児童

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規契約件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	66.67%
計画更新件数	0	1	2	2(2)	6	4(1)	7	7	7(2)	2	2	5(2)	45(7)	39(4)	115.38%
モニタリング件数	4(1)	14	11(1)	7	11	11	2(1)	11	6	6(2)	13	10	106(5)	103(4)	102.91%
合計	5	16	13	9	17	15	9	18	13	8	15	15	153(12)	145(8)	105.52%

(3) 通所・在宅支援課

ほどがや生活介護事業

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	419	448	406	447	419	397	449	407	430	398	389	410	5,019	4,808	104.4%
1日平均	19.0	19.5	20.3	19.4	19.0	18.9	19.5	19.4	19.5	19.9	19.5	19.5	19.5	18.7	104.1%

(4) たっちいずみの課

①「和音」(生活介護)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	343	340	330	370	324	312	352	333	304	306	290	324	3,928	3,962	99.1%
1日平均	16.3	16.2	16.5	16.8	15.4	16.4	16	16.6	15.2	16.1	16.1	16.2	16.2	16.4	98.3%

②「りずむ」(放課後等デイサービス)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	78	84	75	80	77	82	85	77	83	75	76	82	954	912	104.6%
1日平均	3.7	4.0	3.8	3.6	3.7	4.3	3.9	3.8	4.1	3.9	4.2	4.1	3.9	3.8	103.3%

(5) 地域交流

ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動回数	0	0	4	1	0	2	3	2	2	5	3	3	25	0	
活動延べ回数	0	0	4	1	0	2	3	2	2	5	3	3	25	0	

施設内行事

	行事内容	参加者
8月	夏まつり	入所利用者
10月	にこにこ祭	全員
12月	クリスマス会	各課

4 各部署の報告

(1) 入所支援課

感染対策をしながら生活の制限緩和を図った。社会の感染状況に伴い施設内での感染もあったが、主治医・看護師の指示のもと適切な対応に努め、重症化を防いだ。数年振りとなる面会や外出は社会参加の重要性を改めて確認できた。また、外部の方を招いての行事開催も行い、徐々にコロナ禍前の生活へ戻りつつある。引き続き、法人内で情報共有しながら感染対策を継続し、生活の質の確保・向上に努めていく。

その半面、利用者の高齢化に伴う機能低下は否めず、常時医療を必要とする方も増えている。今後更に医療の介入が予想され、不調時の入院先確保も大きな課題である。日常生活においては、機能維持に繋がる動作や正しい介助方法を取り入れるため、在宅リハビリを試行的に導入した。専門職の助言により、利用者の姿勢改善や支援方法・支援者の意識向上の見直しに効果が現れ、継続的に取り組めるよう体制作りを開始していく。

3月に1名逝去され、今後はターミナルケアやACPの取組みとあわせて、時代とともに変化するニーズに対応しながら支援に積極的に取り組み、より利用者が望む暮らしの実現が求められる。



クリスマス会(外部の方を招いて皆でダンス)



夏祭り



にこにこ祭

(2) 在宅・通所支援課

①短期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	55	57	60	52	55	56	66	65	65	53	61	60	705	690	102.2%
利用件数	49	33	48	51	47	46	47	46	52	37	46	32	534	558	95.7%
利用不可※	6	24	12	1	8	10	2	5	3	4	1	20	96	132	72.7%

※利用不可は、満床等及びコロナウイルスの影響によりキャンセルやお断りが発生し、入所対応ができなかった件数

施設内の感染対策が5月から緩和されたことや、短期利用中の方の通所利用が平日毎日可能になったことで、前年度より申し込み件数が増えたことで、利用件数も上がっている。それに伴い申し込み段階でのお断り件数も上がっており、調整が難しくなっていることが課題である。利用不可の件数が多い月は感染症拡大によるものがほとんどだが、9月については職員の欠員により受け入れが難しくお断りした。入所支援課の人手不足が深刻だったため、相談員が一時介助フォローに入ることで対応した。感染時の対応については今までと同様、迅速に家族に連絡し理解を得ていく。

②計画相談

意思決定支援の強化として、施設入所・生活介護それぞれの個別支援会議に参加した。

区内相談支援事業所4箇所と協定を結び、2月に申請・3月から機能強化型体制加算Ⅰ（協働体制）を請求できるようになった。

事業所間での定例会議により情報交換やケース検討の機会ができたほか、初任者研修の受講、兼務者が在宅ケースを担当する等、相談員のステップアップも取り組んだ。

③生活介護

4月より3名、6月より1名の利用者が利用日数を増やし、8月に1名新規利用者を受け入れた。一方で、長期入所が2名決まり、契約終了となった。コロナ禍で行えなかった活動を再開し、月1回の外出活動も安定して実施。活動参観やイベント等も工夫しながら行い、意思決定支援に焦点を当て、本人参加の個別支援会議も全員実施できた。

短期入所中の通所利用も、毎日受け入れを再開したことで、一日平均数も増加した。一方で送迎については課題があり、新規利用者の施設送迎が行えず、利用者の転居に伴った調整も難航した。



街頭募金活動



みなとみらい



いちご狩り



活動参観



たっちリンピック



クリスマス茶話会



イエローリボン啓発活動

(3) いずみの課

①生活介護

常時酸素吸入が必要な新規利用者1名を受け入れ、3名の利用者が年度前半に施設入所やGH入居、通所困難のため契約終了している。契約利用者の減少と私用や体調不良の理由により平均16名程度を推移し、実績としては前年度とほぼ同様になっている。医ケア利用者の増加により日常ケアが増え、施設面積に対して利用者数が飽和してきている。今後、新規受け入れをしていくには、職員充足と施設面積を拡充した通所開設が必要である。



いずみのビッグアート創作



創作活動 キーホルダー



夏のプール



防犯訓練



調理活動 マフィン作り



外出活動

Xmas 会と初詣（施設内）



②放課後等デイサービス

新規利用が1名、利用回数週2日の方が1名増え、増回数利用している利用者が3名となっている。3月には6名が特別支援学校卒業に伴い契約終了となった。月平均として3.9名の実績となり目標値を達成している。学校の長期休み期間には、家族参観や防災・防犯訓練、他事業所交流、外出活動、近隣住民との交流など地域との繋がりができた1年であった。今後、契約終了による空き3枠の利用者補充が喫緊の課題となる。



近隣地域 散歩



合奏



外出 ゆめが丘ソラトス



和音交流活動



地域交流



活動のひと時

(4) 管理課

職員採用状況（非常勤職員は除く。）

職種	生活支援員	看護師	准看護師	事務員	運転員	事務当直	合計
採用者	6	0	0	1	3	0	10
退職者	8	1	0	3	2	0	14

退職は比較的少なかったが、生活支援員の不足について、引き続き採用活動を行っていく。